

インフロニア・ホールディングス
26年3月期 第1四半期 アナリスト向け決算説明会



August 8, 2025

26年3月期 第1四半期 決算説明資料 INDEX

1. 経営環境認識
2. 決算サマリー
3. 資本戦略・還元方針
／FY25 1Q時点の実績と通期見通し
4. インフロニア・ホールディングスの業績数値
【推移・前年比】
5. セグメント別 業績数値
6. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移
【建築、土木セグメント】
7. 連結貸借対照表の主な増減の要因
8. 株価の推移とIR予定
9. 社債型株式発行による財務指標等への影響

= Appendix =

セグメント別 ハイライト（個別）

1. 建築セグメント
2. 土木セグメント
3. インフラ運営セグメント
 1. 前田建設工業
 2. 日本風力開発
4. 舗装セグメント
5. 機械セグメント

FY25 1Q実績とFY25通期計画

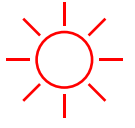
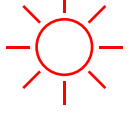
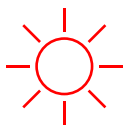
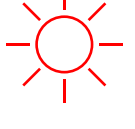
1. 前田建設工業
2. 前田道路
3. 前田製作所
4. 日本風力開発
5. 主なグループ会社

補足資料

※注 通期計画につきましては、現在TOB実施中の三井住友建設(株)を加味した業績数値見込みではございません。

1. 経営環境認識

- 市場環境や受注環境、資材価格等に関する当社の認識、対応

セグメント	市場	市場認識	当社の状況	当社の取組み
建 築		建設投資額は高水準を維持しているが、着工床面積は微減傾向。建設費高騰によるプロジェクトの中止・延期の発生状況を注視		直近の手持ち工事高は過去最高。中長期的な案件情報の取得に注力するとともに、パートナー企業との連携を強化し、付加価値の高い建物の受注を目指す
土 木		政府並びに民間建設投資が需要を牽引。国土強靱化計画及び防衛関連需要に基づく公共建設投資は引き続き旺盛。再エネ、カーボンニュートラル、原子力事業他の民間建設投資も堅調		国土強靱化計画に基づく国交省発注工事、高速道路会社・4車線化及び高速道路リニューアルプロジェクト、防衛省・自衛隊施設強靱化計画といった旺盛な市場を狙う。施工体制を鑑みた受注に注力。通期目標達成に挑む
インフラ 運 営 (MK)		官民連携市場は、アリーナやウォーターPPPが本格的に案件化。再生可能エネルギー市場は、インフレ等によるコスト増があるものの、データセンターや半導体工場などの相次ぐ稼働も影響し、再エネの価値が上昇。市場は拡大傾向		過去の受注案件の経験を活かし、さらなる案件獲得に取り組む。業績については確実な収益確保を見込む
インフラ 運 営 (JWD)				再エネ価値の高まりを背景として着実に開発案件を推進。電力小売事業やO&M事業の拡大により収益増を見込む
舗 装		道路事業費は2010年度以降横ばい、アスファルト合材出荷量は減少傾向		完全週休2日制を実施しながらも、受注時利益率の改善と適切な価格設定により収益確保を見込む
機 械		国内においては、公共投資等に支えられ、ほぼ横這いに推移。海外においては、欧州を中心にカーボンニュートラルに対応する製品の需要は根強い		原材料や人件費・輸送費などのコスト上昇分について適正な価格転嫁を実施。EV建機等の高付加価値製品を戦略的に開発・販売

2. 決算サマリー

会社	セグメント	決算サマリー
インフロニア		• FY25 1Q実績は、前年同期比で増収増益。売上高・EBITDA・当期利益はHD設立以来過去最高事業利益も過去最高水準で推移。通期計画達成に向け、順調に進捗 • 当期利益は投資資産の評価益計上により前年同期比で53億増加（前年同期比289%増）
前田建設	建築	• 1Q実績は、採算性が高い工事の進捗により前年同期比で増収増益。営業黒字を達成 • 手持ち工事の順調な進捗と新規受注工事により、売上高・利益額ともに通期計画を上回る見込み
	土木	• 1Q実績は、今期完成の大型案件が少ないため利益が減少し、前年同期比で増収減益 • 施工高の規模等により重点現場を選定し、進捗向上及び設計変更の獲得額向上により、通期計画達成を見込む
	インフラ運営	• 1Q実績は、愛知道路コンセッション、大阪工業用水コンセッション等のコンセッション事業が順調に進捗し、前年同期比で増収増益 • コンセッション事業の着実な進捗、菰野ヴィラの売却により、通期計画達成を見込む
日本風力開発		• 1Q実績は、前年同期比でほぼ横ばい • 前期から期ずれとなった案件の売却により、通期業績は増収増益を見込む
前田道路	舗装	• 1Q実績は、売上高はほぼ横ばいながらも売上総利益は前年同期比で増益 • 受注時利益率の確保や適正な販売単価の維持により通期計画の達成を見込む
前田製作所	機械	• 1Q実績は、一部産機製品及び建機商品の販売台数減少により、前年同期比で減収 • 足元の受注状況と、建機商品の整備・レンタル需要から通期計画達成を見込む
その他		• 1Q実績は前年同期比で増収増益 • 売上高および利益額において通期計画達成を見込む

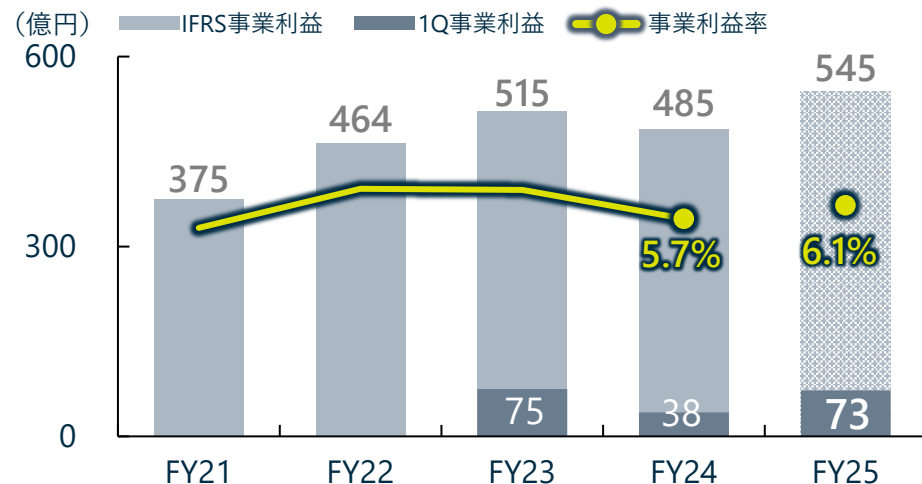
3. 資本戦略・還元方針／FY25 1Q時点の実績と通期見通し

4

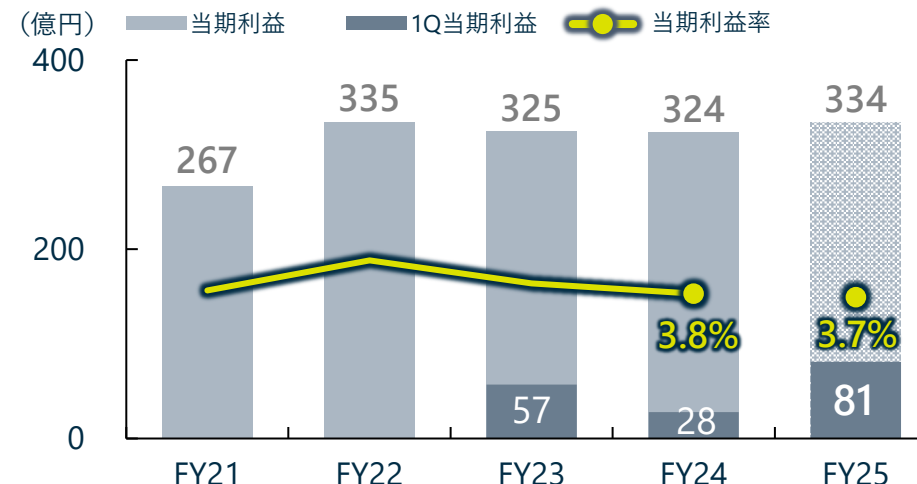
Medium-term Vision 2027			FY24実績	FY25 1Q時点 通期見込	
資本効率	ROE	9.0%	7.5%	7.2% (通期)	通期は計画通りの見込み
最適 資本構成	自己資本比率	30%以上	35.8%	37.5% (1Q) 34.6% (通期)	1 Qおよび通期共に中期経営 計画値の達成を見込む
	D/Eレシオ	1.0倍以下	0.8倍	0.7倍 (1Q) 0.9倍 (通期)	
株主還元	配当性向	FY25~27 40%以上	48.3%	48.1%	種類株式配当は除く
	配当額	下限配当 60円/株	60円/株	60円/株	普通株式配当に 下限配当を新たに導入
資産 効率化	政策保有株/ 純資産割合	FY27までに 保有ゼロ	14.7%	15.0% (1Q)	株価上昇により、政策保有株 の割合が増加。方針に基づき 売却を推進
	保有不動産 の売却	FY27までに 100億以上	—	—	保有資産の精査、売却候補 の選定やスキームの検討を実 施

4-1. インフロニア・ホールディングスの業績数値の推移

事業利益

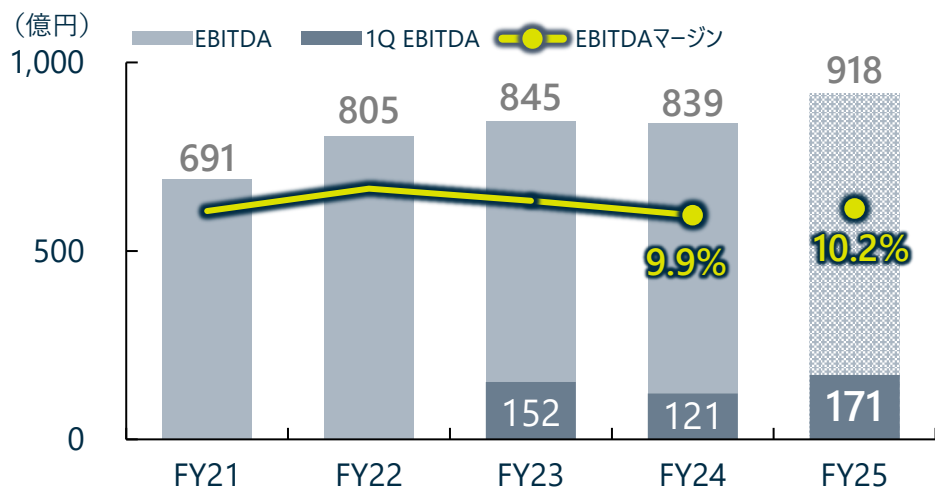


当期利益



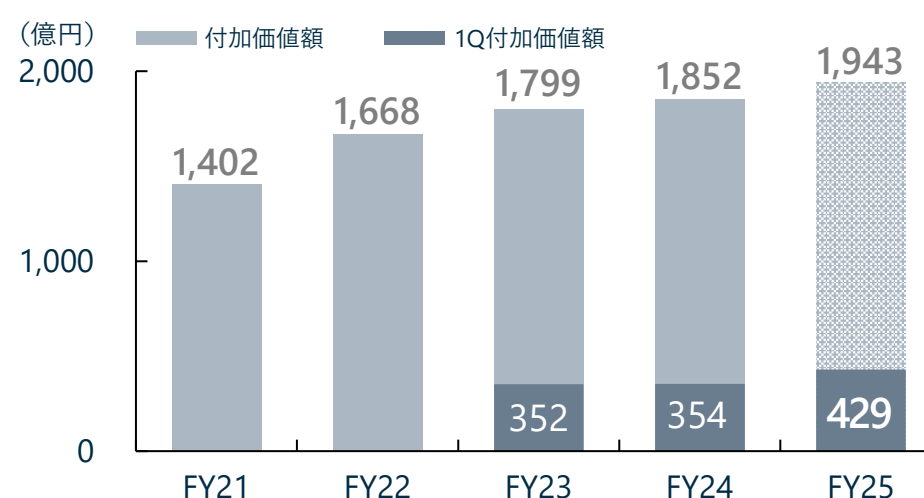
EBITDA

EBITDA = 事業利益 + 減価償却費 (IFRS)



付加価値額

付加価値額 = 事業利益 + 減価償却費 + 総人件費 + 研究開発費 (IFRS)



* 通期実績値：FY22よりIFRS基準による数値

* 1Q実績値：FY23よりIFRS基準による数値

4-2. インフロニア・ホールディングスの業績数値

- FY25 1Q実績は、前年同期比で**増収増益**。**売上高・EBITDA・当期利益はHD設立以来過去最高**。事業利益も**過去最高水準**で推移。通期計画達成に向け、順調に進捗
- 当期利益は投資資産の評価益計上により前年同期比で**53億増加**（前年同期比289%）

(億円)

	第1四半期				通期		
	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	前年 同期比	進捗率	FY24 通期実績	FY25 計画	前期比
売上高	1,783	1,916	133	21.4%	8,475	8,963	488
売上総利益	198 (11.1%)	249 (13.0%)	51	19.2%	1,155	1,295 (14.4%)	140
一般管理費	160 (9.0%)	175 (9.1%)	15	23.1%	683	757 (8.4%)	74
持分法による投資利益	0 (-0.1%)	(1) (-0.1%)	△1	-19.6%	14	7 (0.1%)	△7
EBITDA	121 (6.8%)	171 (8.9%)	50	18.6%	839	918 (10.2%)	79
事業利益	38 (2.1%)	73 (3.8%)	35	13.3%	485	545 (6.1%)	60
その他の収益	3	2	△1	—	18	17	△1
その他の費用	6	8	2	—	32	13	△19
営業利益	34 (1.9%)	67 (3.5%)	32	12.1%	471	549 (6.1%)	78
金融収益	14	65	51	—	105	33	△72
金融費用	12	15	3	—	79	68	△11
当期利益 ※1	28 (1.6%)	81 (4.2%)	53	24.2%	324	334 (3.7%)	10
自己資本	3,937	5,204	—	—	5,191	5,255	—
ROE（普通株式）	—	—	—	—	7.5%	7.2%	—
EPS	—	—	—	—	123.7円	124.2円	—

※1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない

5. セグメント別 業績数値

(億円) 7

		FY24	FY25	前年	進捗率	FY24	FY25	前期比
		1Q実績	1Q実績	同期比		通期実績 ①	通期計画 ②	②-①
売上高		1,783	1,916	133	21.4%	8,475	8,963	488
建築		613	737	124	21.6%	3,207	3,405	198
土木		308	313	6	18.8%	1,420	1,669	249
舗装		599	596	△ 3	23.1%	2,631	2,576	△ 55
機械		96	85	△ 11	21.2%	410	401	△ 9
インフラ	MK	49	72	24	28.4%	245	254	10
運営	JWD	11	11	0	11.8%	61	94	33
その他		109	102	△ 7	18.1%	502	564	62
売上総利益		198 (11.1%)	249 (13.0%)	51	19.2%	1,155 (13.6%)	1,295 (14.4%)	140
建築		41 (6.6%)	82 (11.1%)	41	23.8%	299 (9.3%)	344 (10.1%)	45
土木		52 (17.0%)	43 (13.8%)	△ 9	14.3%	283 (19.9%)	301 (18.0%)	18
舗装		70 (11.7%)	77 (13.0%)	8	19.8%	368 (14.0%)	391 (15.2%)	23
機械		20 (20.8%)	19 (22.5%)	△ 1	18.0%	91 (22.1%)	106 (26.4%)	15
インフラ	MK	6 (13.1%)	15 (21.1%)	9	31.2%	31 (12.7%)	49 (19.2%)	18
運営	JWD	3 (24.0%)	2 (19.5%)	△ 0	5.0%	27 (43.4%)	43 (46.1%)	17
その他		6 (5.7%)	10 (9.9%)	4	16.6%	57 (11.3%)	61 (10.8%)	4
EBITDA		121 (6.8%)	171 (8.9%)	50	18.6%	839 (9.9%)	918 (10.2%)	79
建築		11 (1.7%)	55 (7.5%)	45	25.1%	177 (5.5%)	220 (6.5%)	43
土木		31 (10.0%)	24 (7.6%)	△ 7	12.5%	180 (12.7%)	191 (11.4%)	11
舗装		57 (9.5%)	52 (8.7%)	△ 5	17.3%	310 (11.8%)	299 (11.6%)	△ 11
機械		10 (10.0%)	8 (8.9%)	△ 2	16.0%	46 (11.2%)	47 (11.7%)	1
インフラ	MK	18 (36.6%)	25 (34.9%)	7	23.3%	80 (32.7%)	108 (42.5%)	28
運営	JWD	△ 4 (-37.8%)	△ 4 (-38.3%)	△ 0	-28.2%	△ 2 (-3.3%)	15 (16.0%)	17
その他		0 (0.1%)	11 (11.2%)	11	30.2%	48 (9.6%)	38 (6.7%)	△ 10
事業利益		38 (2.1%)	73 (3.8%)	35	13.4%	485 (5.7%)	545 (6.1%)	59
建築		△ 4 (-0.7%)	37 (5.0%)	41	25.0%	113 (3.5%)	149 (4.4%)	36
土木		23 (7.5%)	16 (5.2%)	△ 7	10.5%	152 (10.7%)	156 (9.3%)	4
舗装		30 (5.0%)	25 (4.2%)	△ 5	13.1%	197 (7.5%)	192 (7.5%)	△ 5
機械		4 (3.7%)	1 (1.0%)	△ 3	3.6%	22 (5.3%)	24 (6.0%)	2
インフラ	MK	△ 1 (-1.7%)	3 (4.3%)	4	348.5%	△ 4 (-1.7%)	1 (0.3%)	5
運営	JWD	△ 8 (-71.9%)	△ 9 (-78.8%)	△ 1	800.2%	△ 16 (-25.4%)	△ 1 (-1.2%)	14
その他		△ 6 (-5.4%)	△ 1 (-1.1%)	5	-4.7%	22 (4.4%)	24 (4.3%)	2

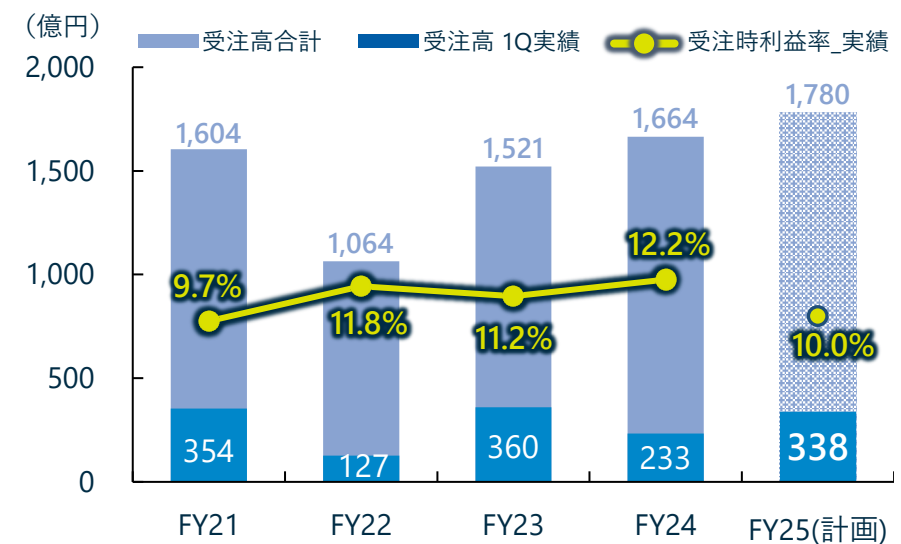
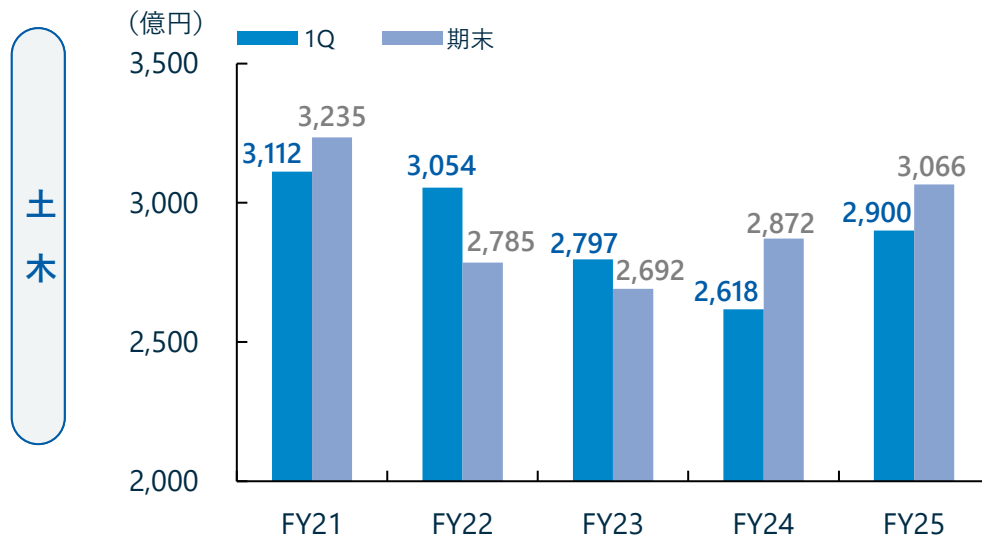
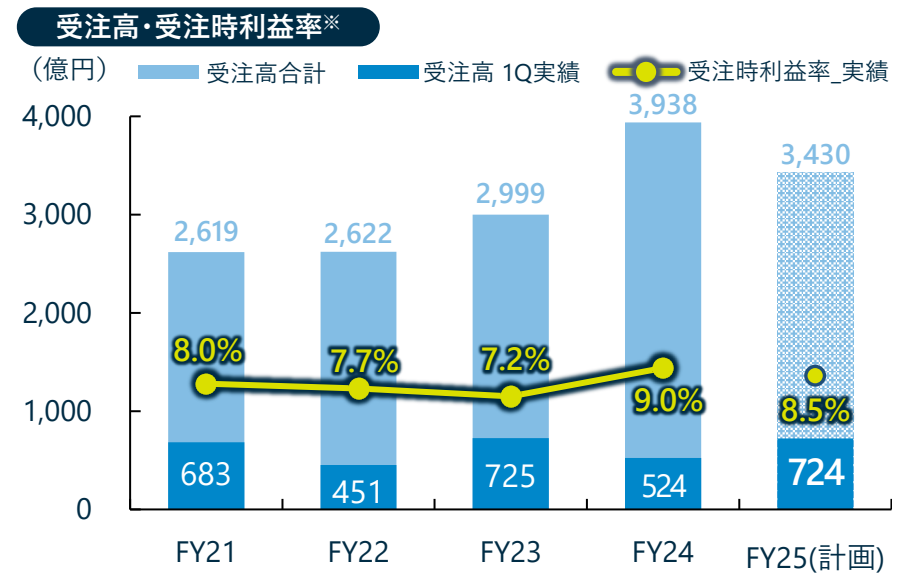
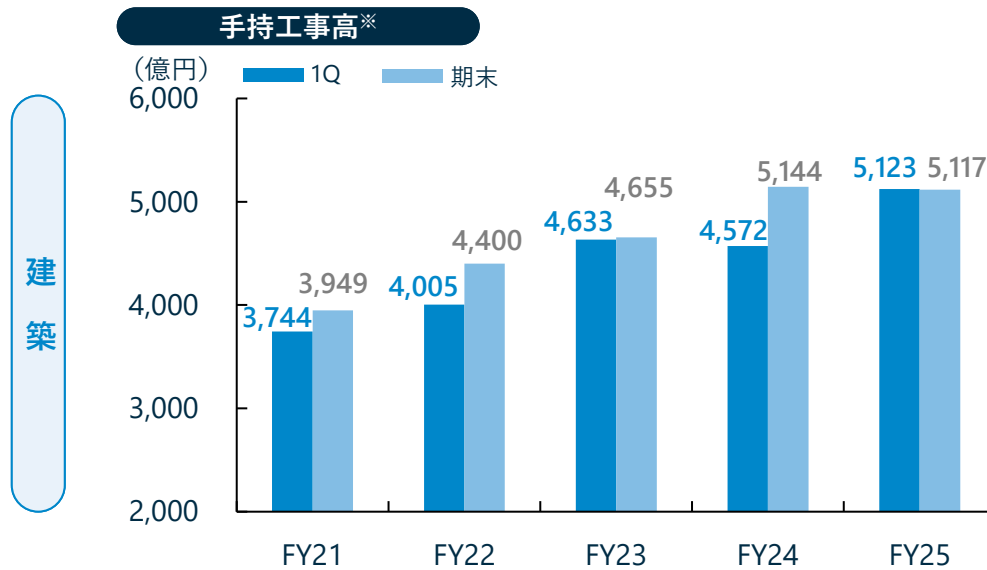
※MK：前田建設 JWD：日本風力開発 ※舗装セグメントはPPA資産の償却が加味されています ※インフラ運営セグメントのJWDはPPA資産の償却が加味されています

※数値は小数点以下を四捨五入しているため、表記数値の合計は一致しない

6. 手持工事高、受注高、受注時利益率の推移（通期）【建築、土木セグメント】

8

- 建築の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率は高水準**を維持。期末での手持工事高は前年同様**高水準**を見込む
- 土木の受注高は堅調に推移し、**受注時利益率も高水準**を維持。期末での手持工事高は直近3年で**最高額**を見込む



※前田建設の業績数値

7. 連結貸借対照表の主な増減の要因

資産

(億円)

14,507
(13,577)^{※1} ▲ 632
(▲ 617)

13,875
(12,960)^{※1}

流動資産

6,009

5,302

固定資産(有形)

2,225

2,245

固定資産(無形)等

4,120

4,104

固定資産(投資)等

2,154

2,225

FY24

FY25 1Q

公共施設等
運営権^{※3}
930

主な要因

▲707

営業債権・他債権▲501
(債権回収)
売却目的保有資産▲496
(愛知アリーナ)
現金及び現金同等物 + 147
契約資産 + 116

公共施設等
運営権^{※3}
915

負債・資本

(億円)

14,507 ▲ 632
3,952^{※2}

13,875 ▲ 120
3,832^{※2}

有利子負債

3,952^{※2}

その他負債

5,127

5,429

FY24

FY25 1Q

主な要因

▲120

短期借入金▲88
長期借入金▲26

▲513

工事未払金▲242
未払法人税▲155
売却目的保有負債▲62
(愛知アリーナ)

FY24 4Q時点

FY25 通期見込み

ROA 2.3%
(2.4%)^{※1}

ROA 2.2%
(2.4%)^{※1}

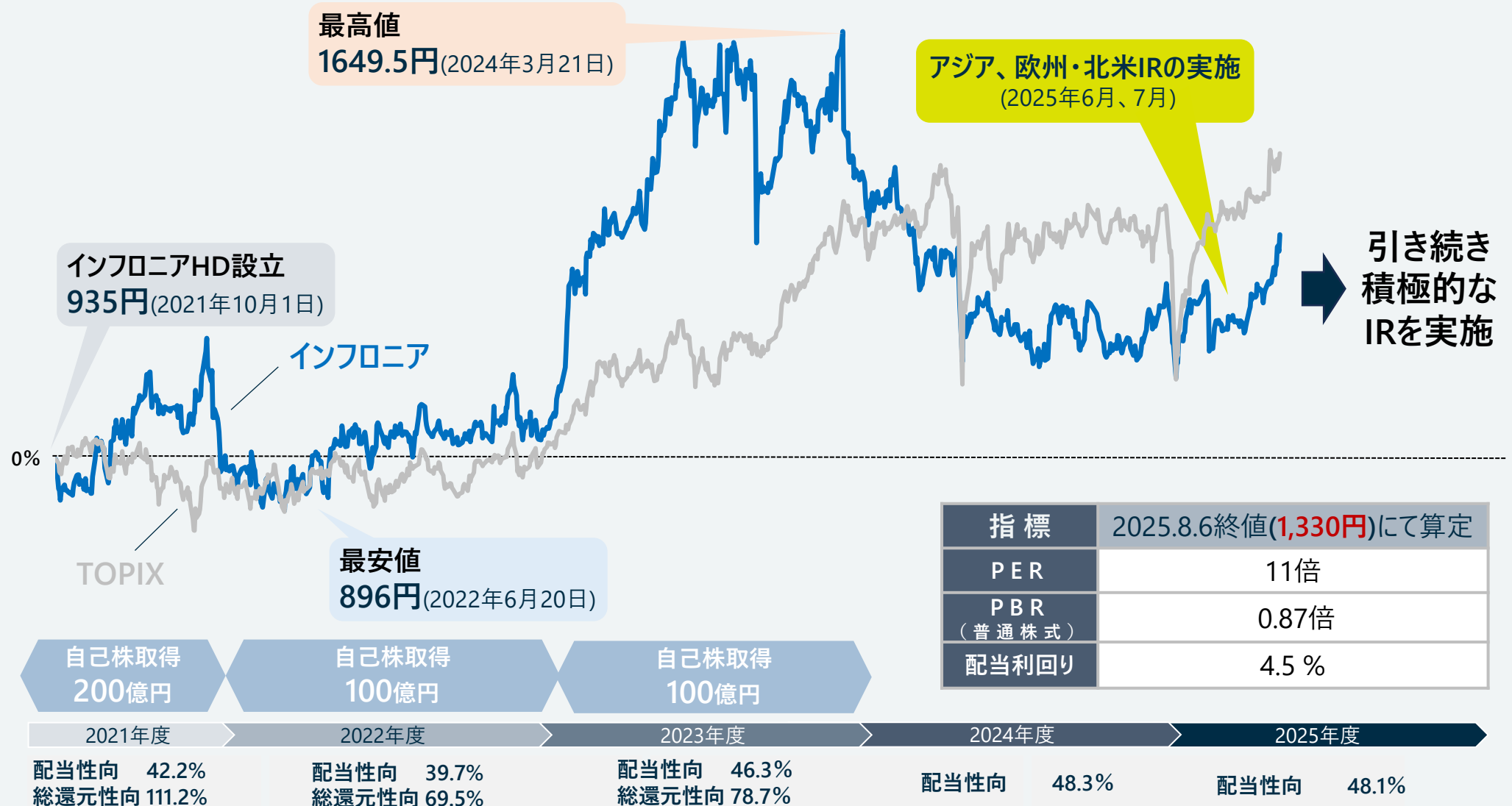
※1 ()・・・公共施設等運営権を除いた数値

※2 有利子負債＝短期借入金、長期借入金、ノンリコース借入金（1年以内返済予定も含む）、社債

※3 公共施設等運営権：コンセッション事業などの数年にわたって公共施設を運営する権利の譲渡を受ける際に支払われる対価

8.資本戦略と株価の推移

- 引続き資本戦略の実施および業績目標達成により資本効率を意識した経営を進める



※2021年10月1日時点の株価を基準(0)とした、株価の伸び率を%で表示

9. 社債型株式発行による財務指標等への影響

- 社債型種類株式は普通株式とは区別され、PBR算定時の純資産からは除く
- ROE・EPSは、優先配当分差し引かれる為、普通株主に帰属する当期純利益は減少

(単位のないものは億円)

財務指標	算定式	FY25通期見込
ROE (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{自己資本} - \text{社債型種類株式に係る純資産}} \quad (\text{※二期平均})$	$\frac{334 - 26^{\text{※1}}}{((5,191-968) - (5,255-968))/2} = 7.2\%$
EPS (普通株式)	$\frac{\text{当期純利益} - \text{優先配当}}{\text{発行済株式数 (普通株式)}}$	$\frac{334 - 26^{\text{※1}}}{24,797\text{万株}} = 124.2\text{円}$
PBR (普通株式・1Q時点)	$\frac{\text{時価総額 (普通株式)}}{\text{自己資本} - \text{社債型種類株式に係る純資産} - \text{優先配当} - \text{新株予約権}}$	$\frac{1,330\text{円}^{\text{※2}} \times 27,485\text{万株}^{\text{※3}}}{5,204 - 968 - 26^{\text{※1}} - 26} = 0.87\text{倍}$
D/Eレシオ	$\frac{\text{有利子負債}}{\text{自己資本 (種類株式を含む)}}$	$\frac{4,832}{5,255} = 0.92\text{倍}$

自己資本 = 【資本】親会社持分 合計

※1 社債型種類株式配当金 26億円

※2 株価は2025.8.6終値にて算定 (1,330円)

※3 自己株式を含む

Appendix

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

機 械

セグメント別ハイライト

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

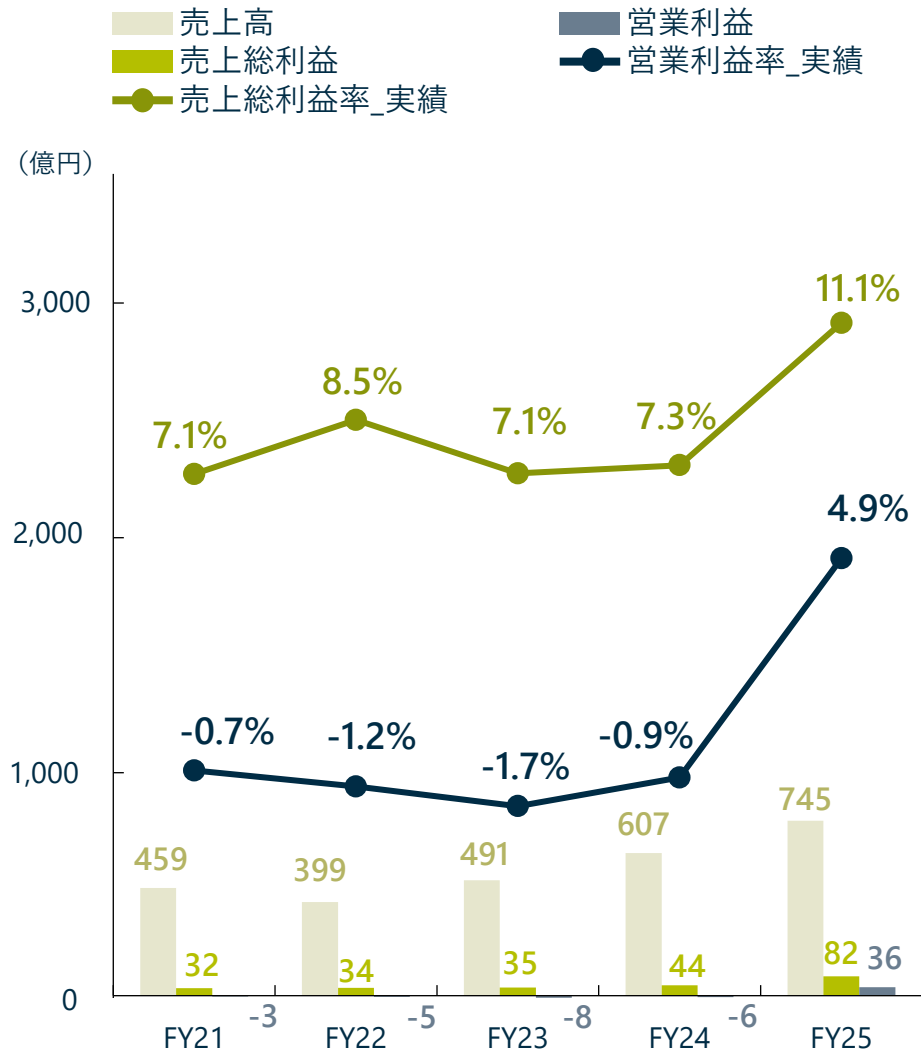
機 械

1-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

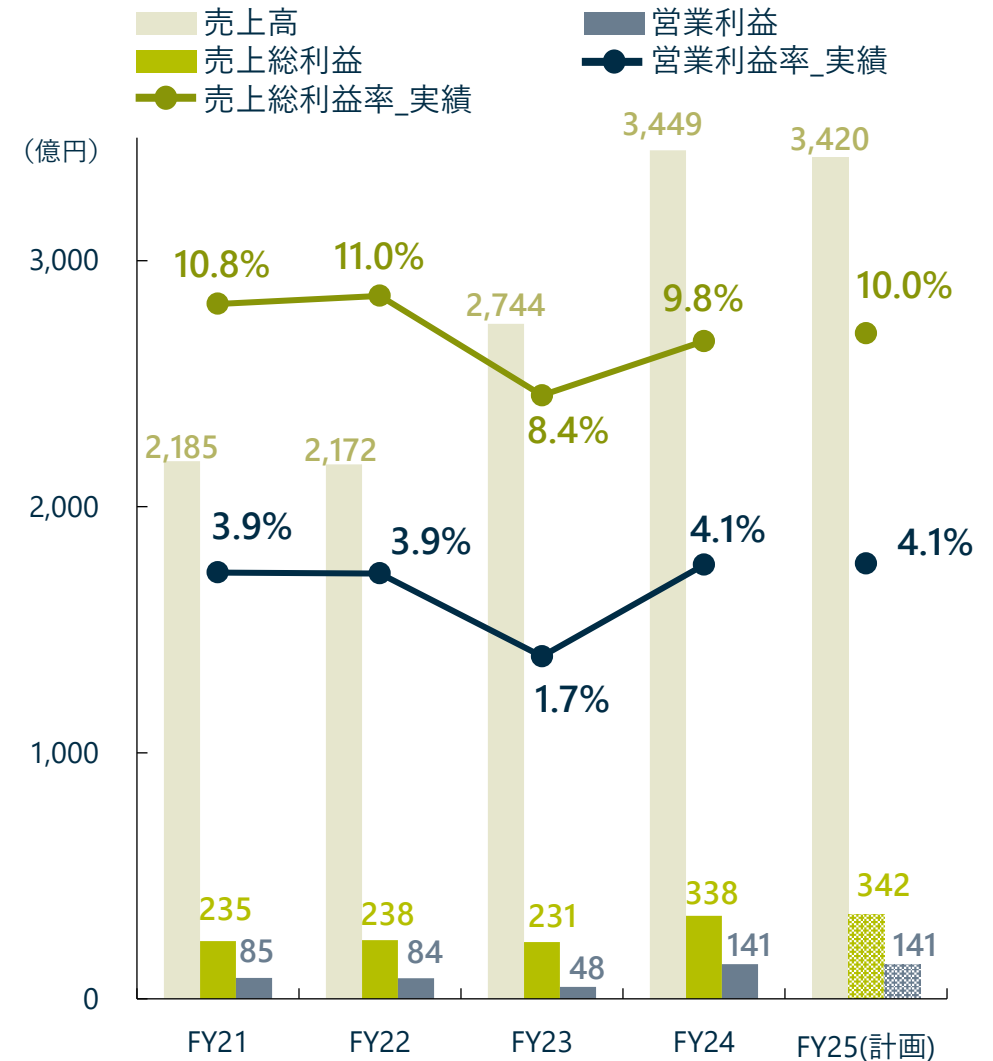
14

- FY25 1Q 採算性が高い工事の進捗により前年同期比、**増収増益**。**営業黒字**を達成
- FY25 通期 手持ち工事の順調な進捗と新規受注工事により、売上高・利益額ともに**通期計画を上回る**見込み

第1四半期



通 期



※海外の主要現地法人の売上高、売上総利益はインフロンティア・ホールディングス その他セグメントに含まれる。

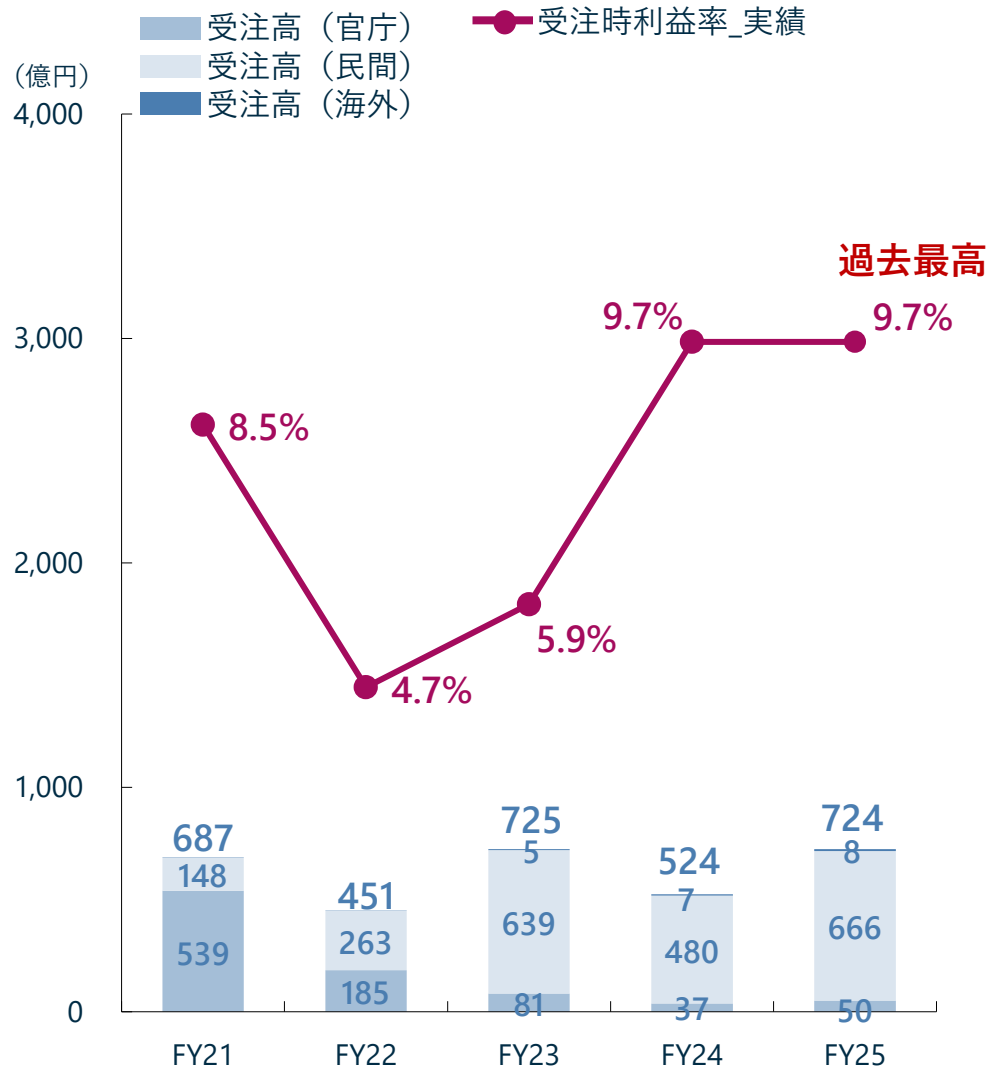
建
築土
木イン
フラ
M
Kイン
フラ
J
W
D舗
装機
械

1-2. 受注高と受注時利益率の推移

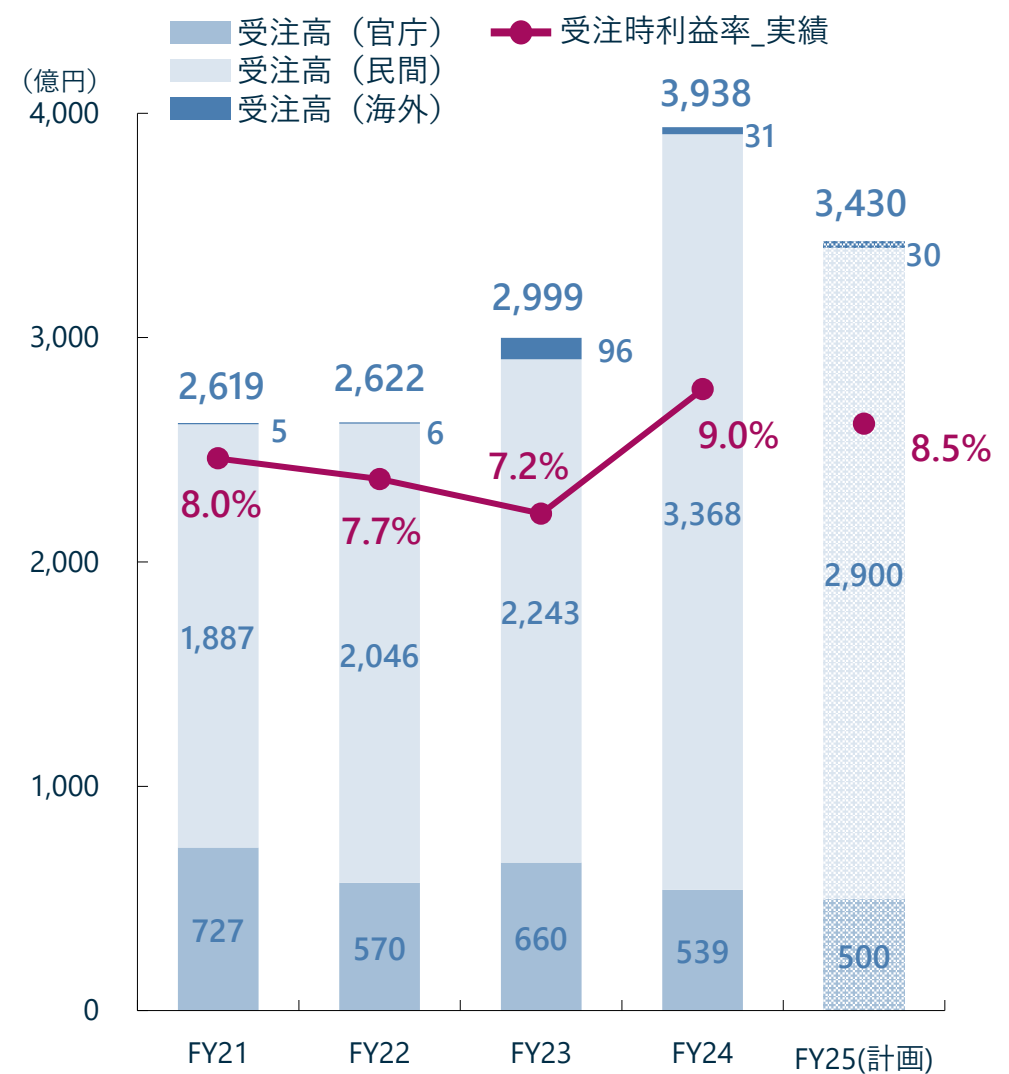
15

- FY25 1Q 計画通りに受注できており、**受注時利益率も9.7%と高水準を達成**
- FY25 通期 受注高は計画値3,430億円を達成する見込み、前期並みに高い受注時利益率を見込む

第1四半期



通 期

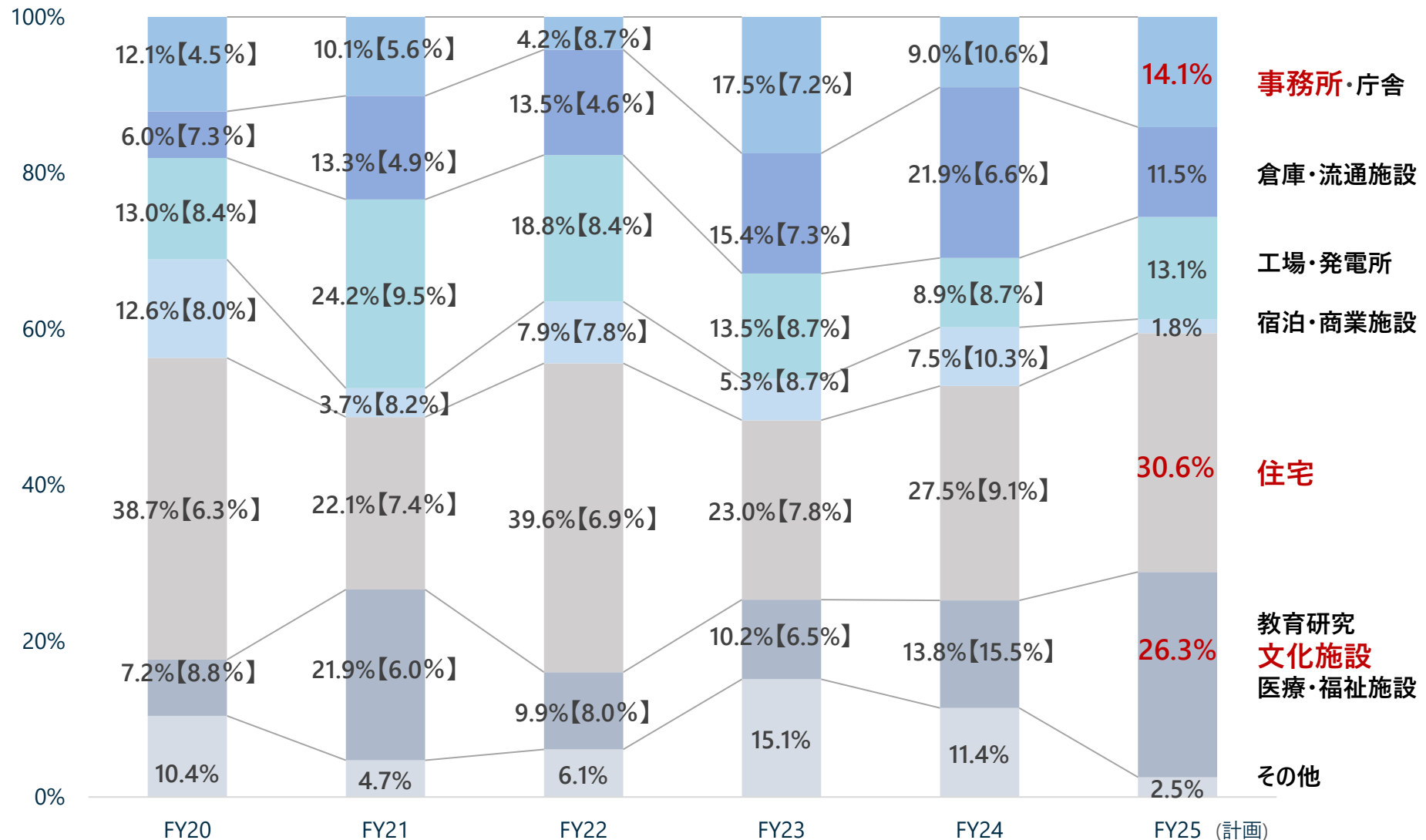


1-3. 建物用途別 受注比率の推移

16

- 「事務所」、「住宅」、「文化施設」の大型案件受注を見込んでおり、受注比率が高まる見通し

【 】の中は、受注時利益率の実績



セグメント別ハイライト

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

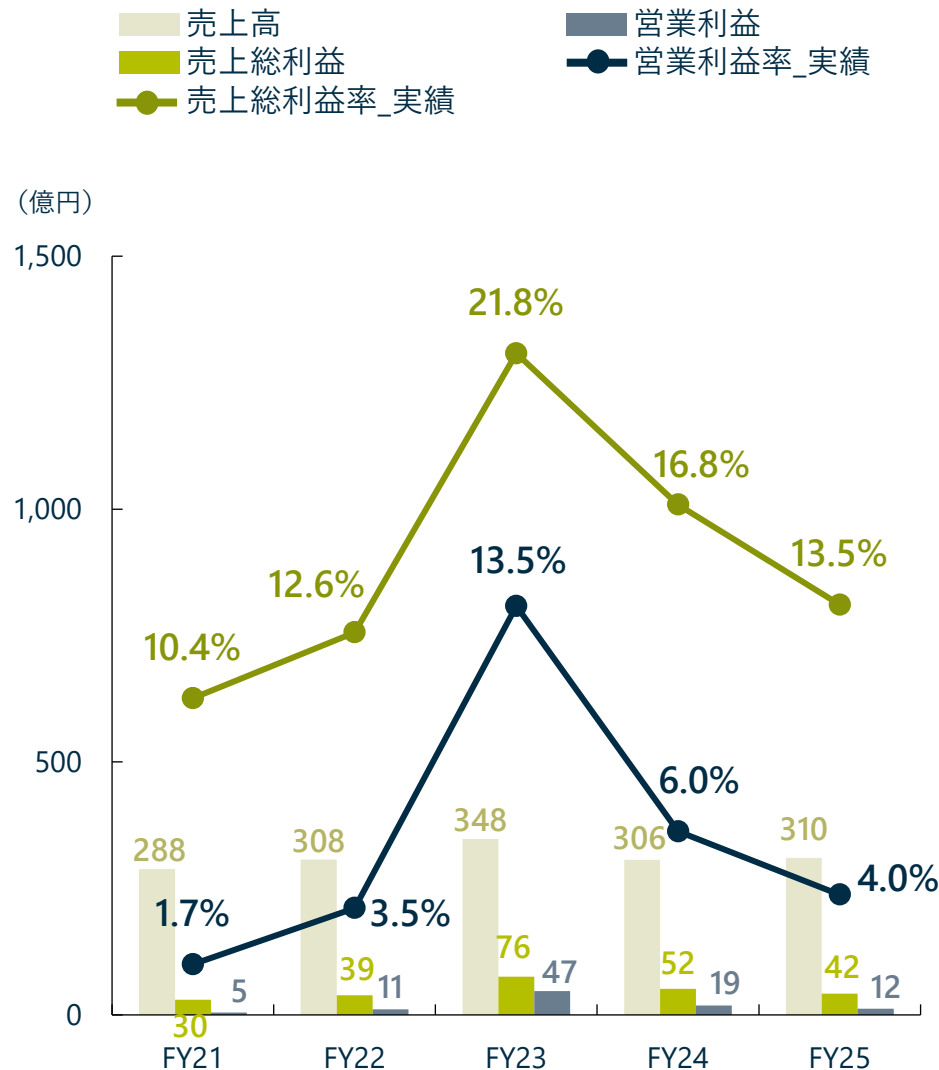
機 械

2-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

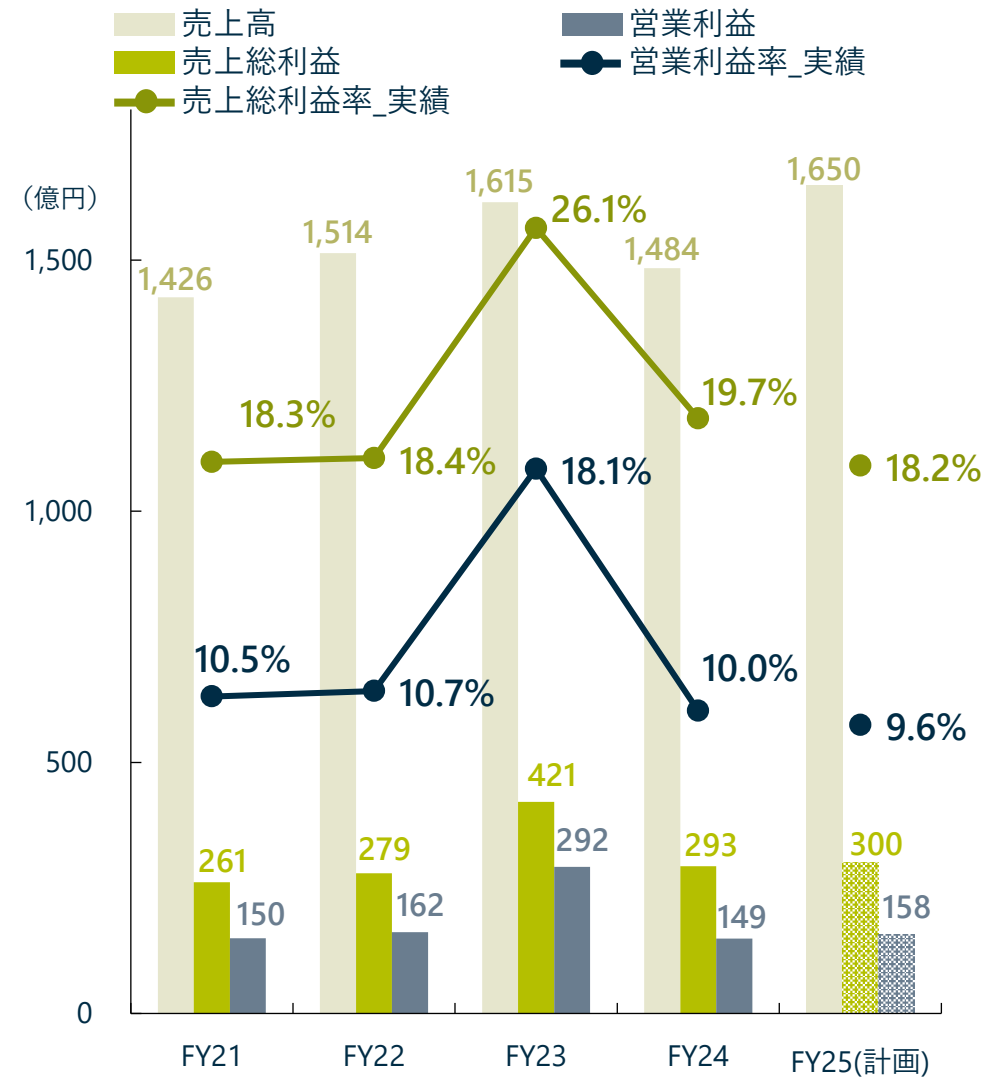
18

- FY25 1Q **売上高は順調に推移**。今期完成の大型案件が少ないため利益が減少し、前年同期比で**増収減益**
- FY25 通期 施工高の規模等により重点現場を選定し、工事進捗管理及び設計変更の獲得額向上により、**通期計画達成**を見込む

第1四半期



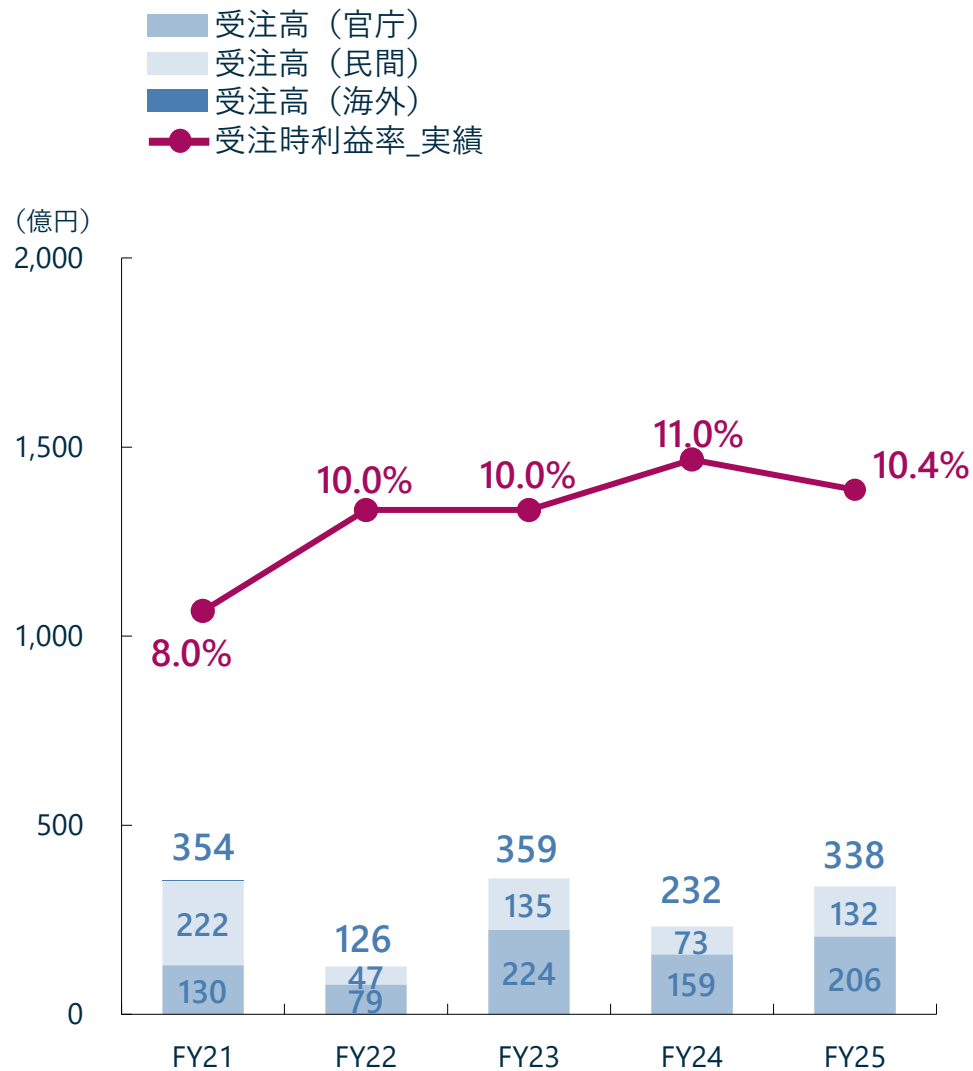
通 期



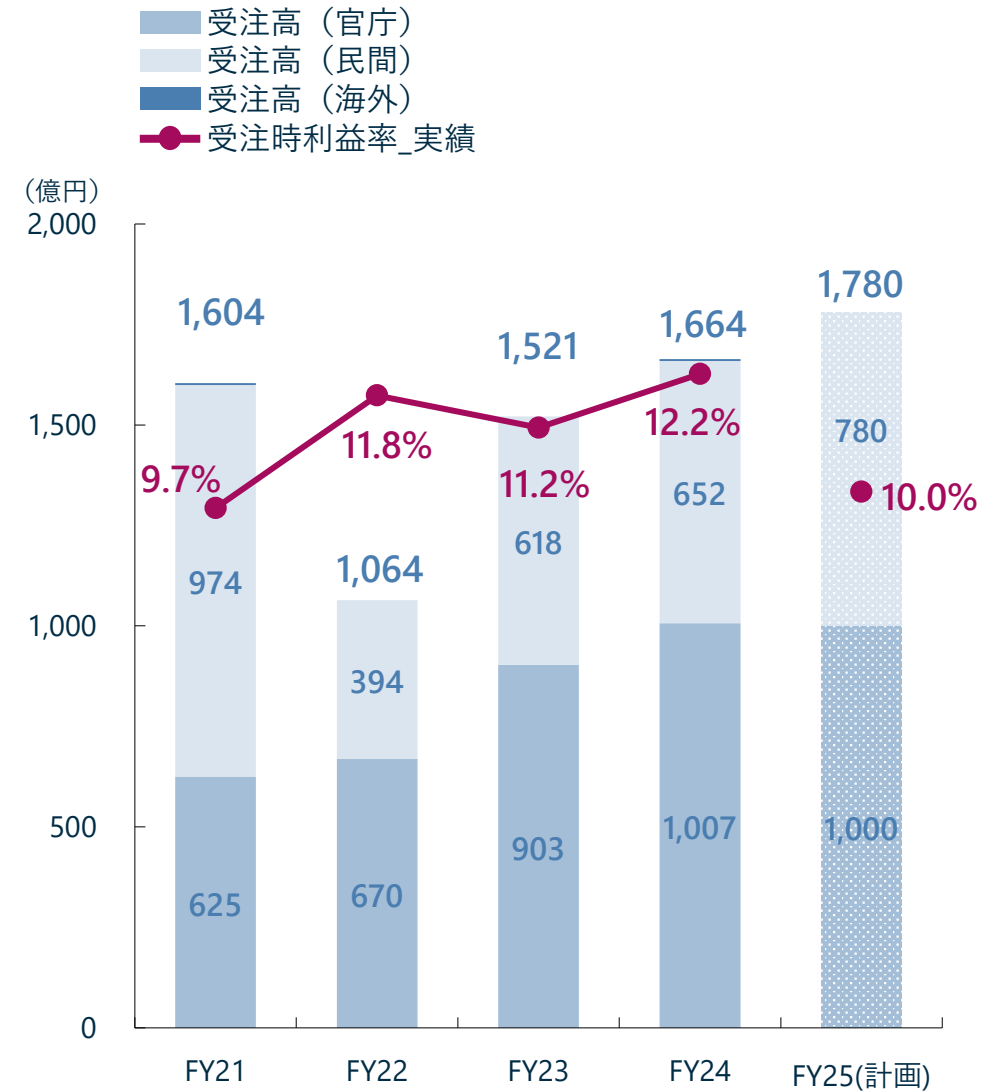
2-2. 受注高と受注時利益率の推移

- FY25 1Q 受注は官民共に堅調に進捗。受注時利益率も**高水準を維持**
- FY25 通期 2Q以降出件の大型工事、特命工事の受注を確保すると共に設計変更の獲得により**通期計画達成**を見込む

第1四半期



通 期



セグメント別ハイライト

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設グループ

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

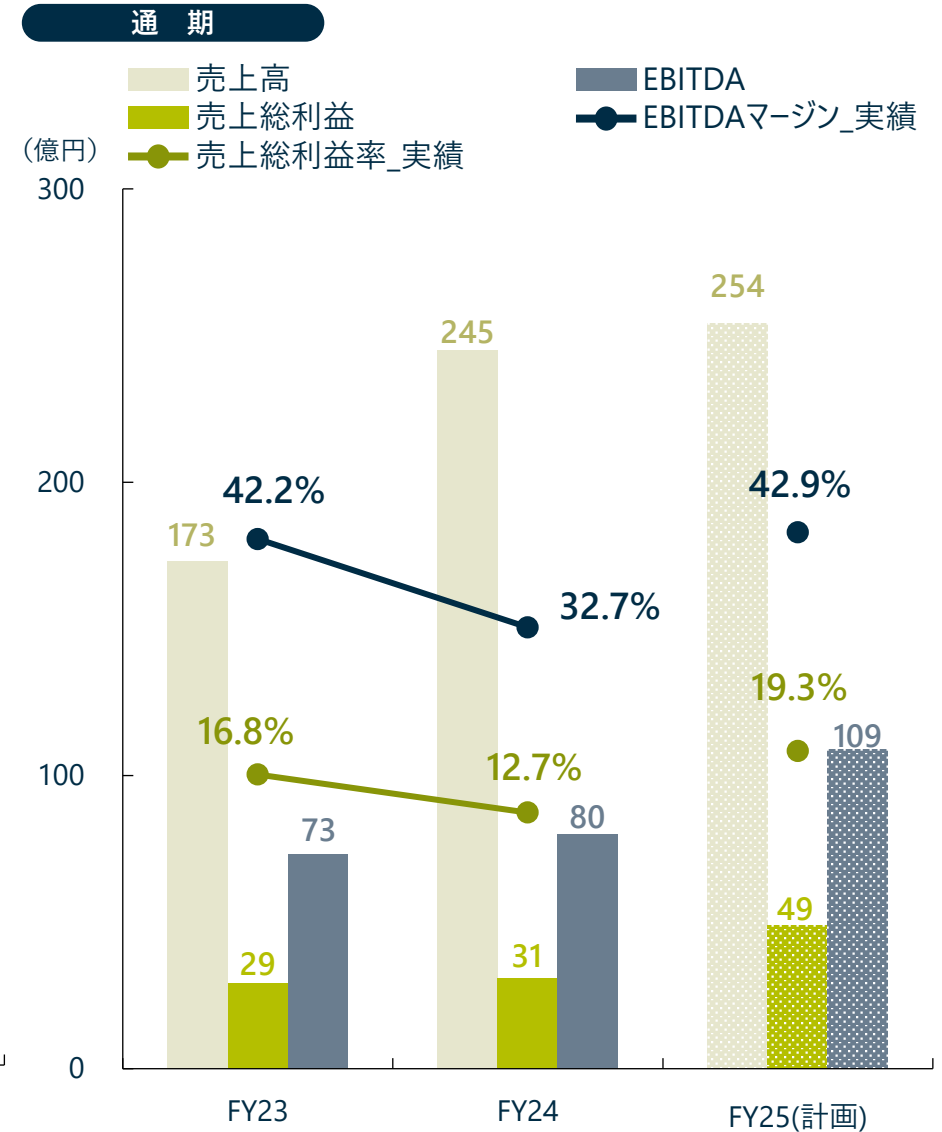
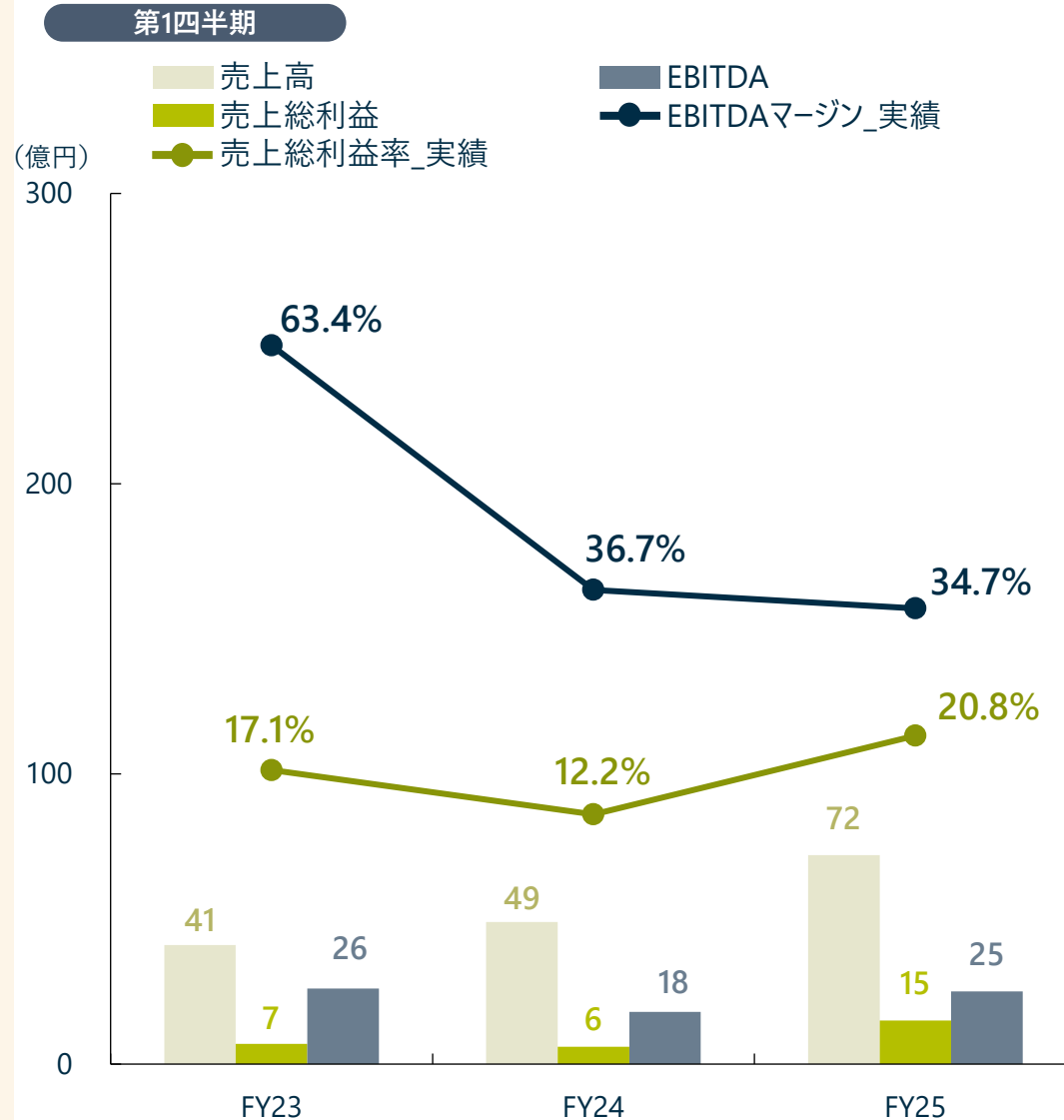
前田製作所（連結）

機 械

3-1-1. 売上高、売上総利益、EBITDAの推移

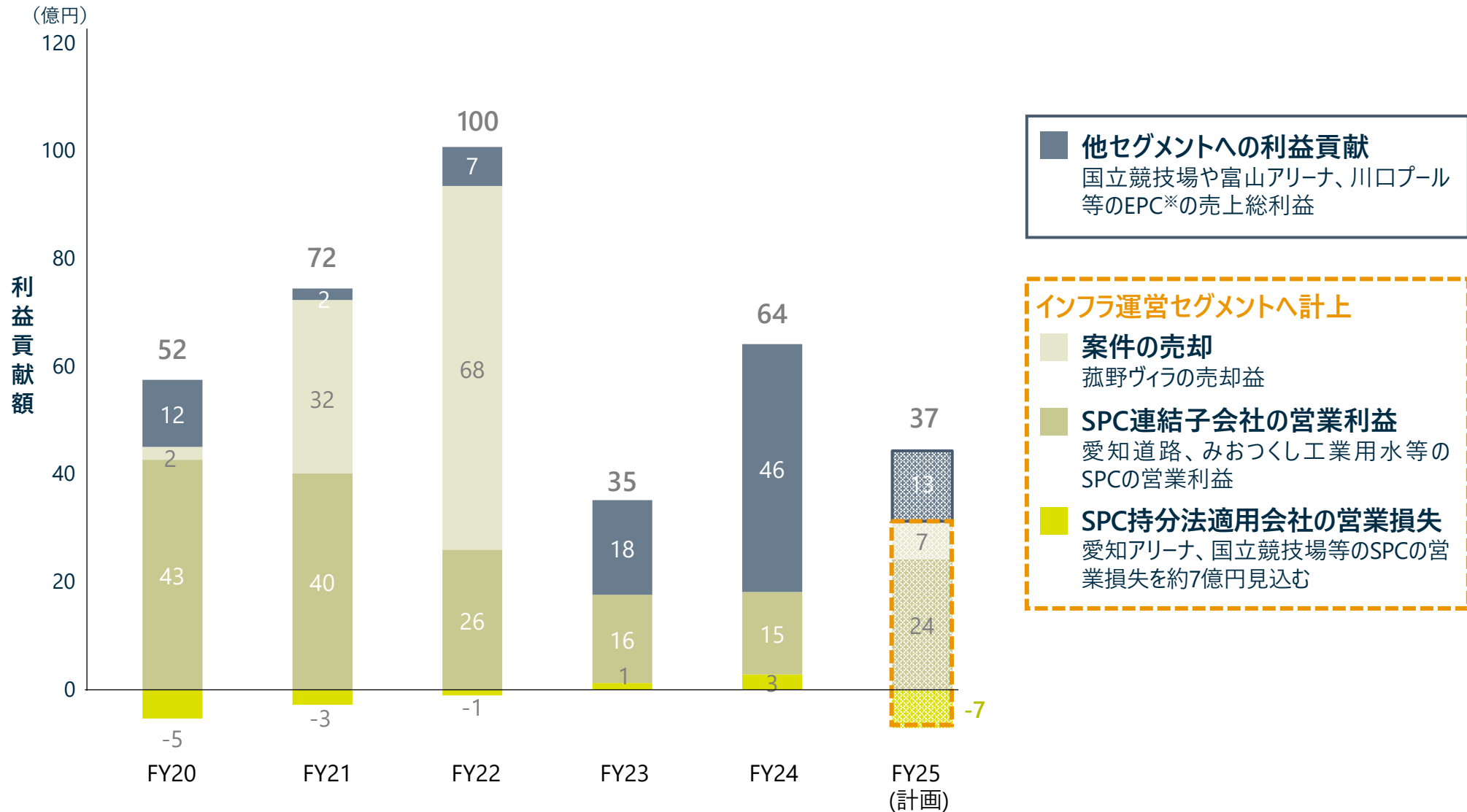
21

- FY25 1Q 愛知道路コンセッション、大阪工業用水コンセッション等のコンセッション事業が順調に進捗し、前年同期比で**増収増益**
- FY25 通期 コンセッション事業の順調な進捗、菰野ヴィラの売却により、**通期計画達成**を見込む



3-1-2. 利益貢献額について（通期）

- FY25 1Q 愛知道路をはじめとした運営中のSPCの**営業利益は順調に推移**している
- FY25 通期 菰野ヴィラに関しては今期中に売却の予定



※EPC インフラ運営事業に伴う設計・調達・建設工事等の一括請負業務

3-1-3. 主なグループ会社（インフラ運営）のFY25 1Q実績と通期計画

23

(百万円)

連結子会社 (インフラ運営セグメント)	愛知道路コンセッション(株) ※1			みおつくし工業用水コンセッション(株) ※1			三浦下水道コンセッション(株) ※1		
	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画
売上高	3,772	3,869	15,809	332	360	1,750	48	45	214
営業利益	392	221	2,256	37	23	114	13	6	22
経常利益	118	△ 40	1,224	34	20	103	12	4	16
当期純利益	105	△ 57	1,121	18	17	66	8	4	11

持分法 適用会社	仙台国際空港(株) ※2			愛知国際展示場(株) ※3		
	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画
売上高	1,086	1,195	5,067	303	344	1,467
営業利益	91	103	420	104	121	327
経常利益	91	107	421	102	131	315
当期純利益	88	103	511	67	58	208

※1 日本基準・単体

※2 日本基準・単体、当社出資持分：30%

※3 日本基準・単体、当社出資持分：49%

3-1-4. 国内の主なインフラ運営事業

- 様々なインフラサービスにおける確かな実績
- 実績に裏付けされた豊富な運営ノウハウを今後の案件獲得に活かす

コンセッション事業

9 事業

(FY24 4Q時 9 事業)

PFI事業等

18 事業

(FY24 4Q時 18 事業)

包括的民間委託

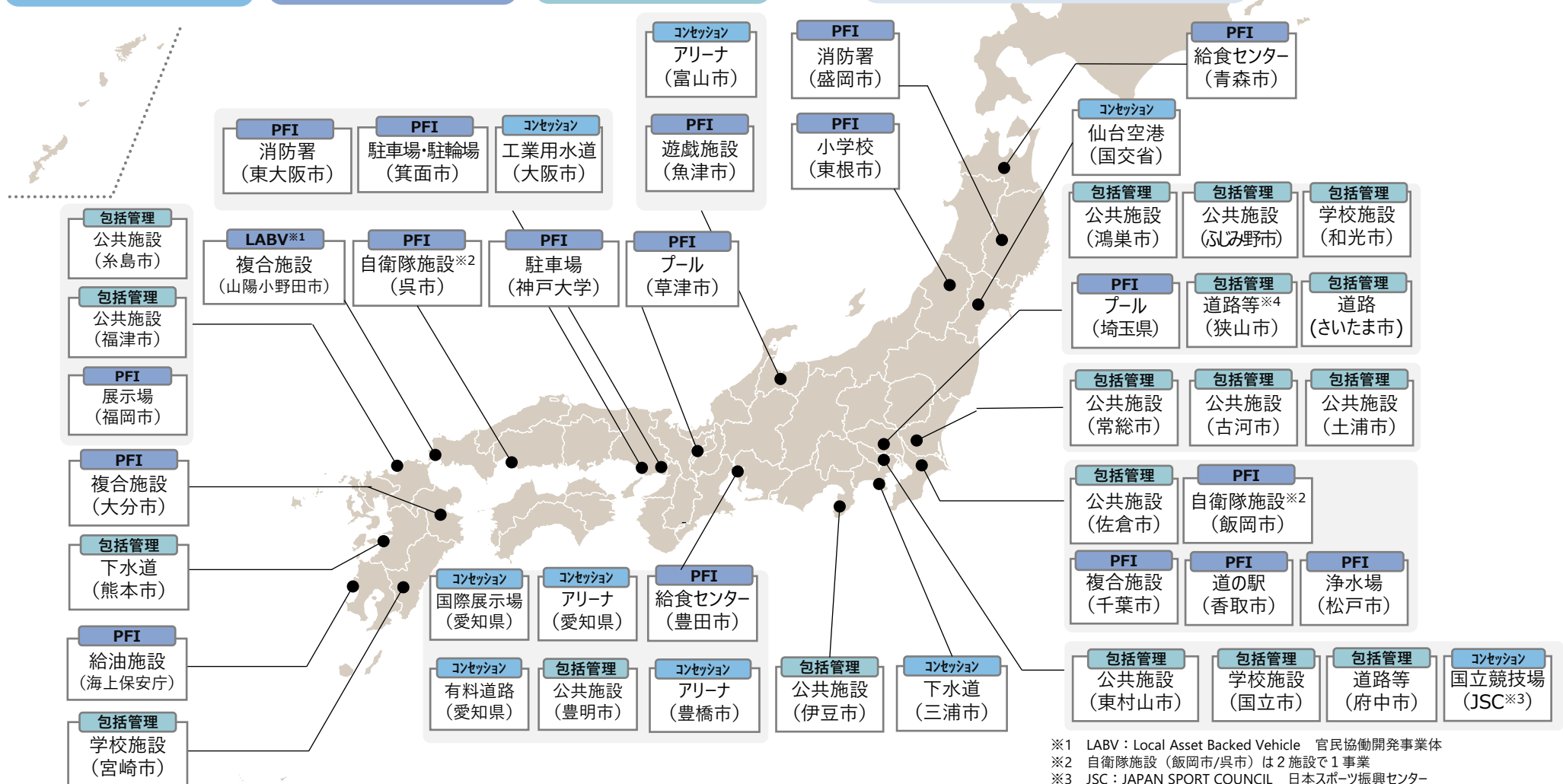
18 事業

(FY24 4Q時 18 事業)

+

今期取組中の新規案件数

30 事業



※1 LABV: Local Asset Backed Vehicle 官民協働開発事業体

※2 自衛隊施設 (飯岡市/呉市) は 2 施設で 1 事業

※3 JSC: JAPAN SPORT COUNCIL 日本スポーツ振興センター

※4 前田道路の受託事業

セグメント別ハイライト

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設（連結）

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

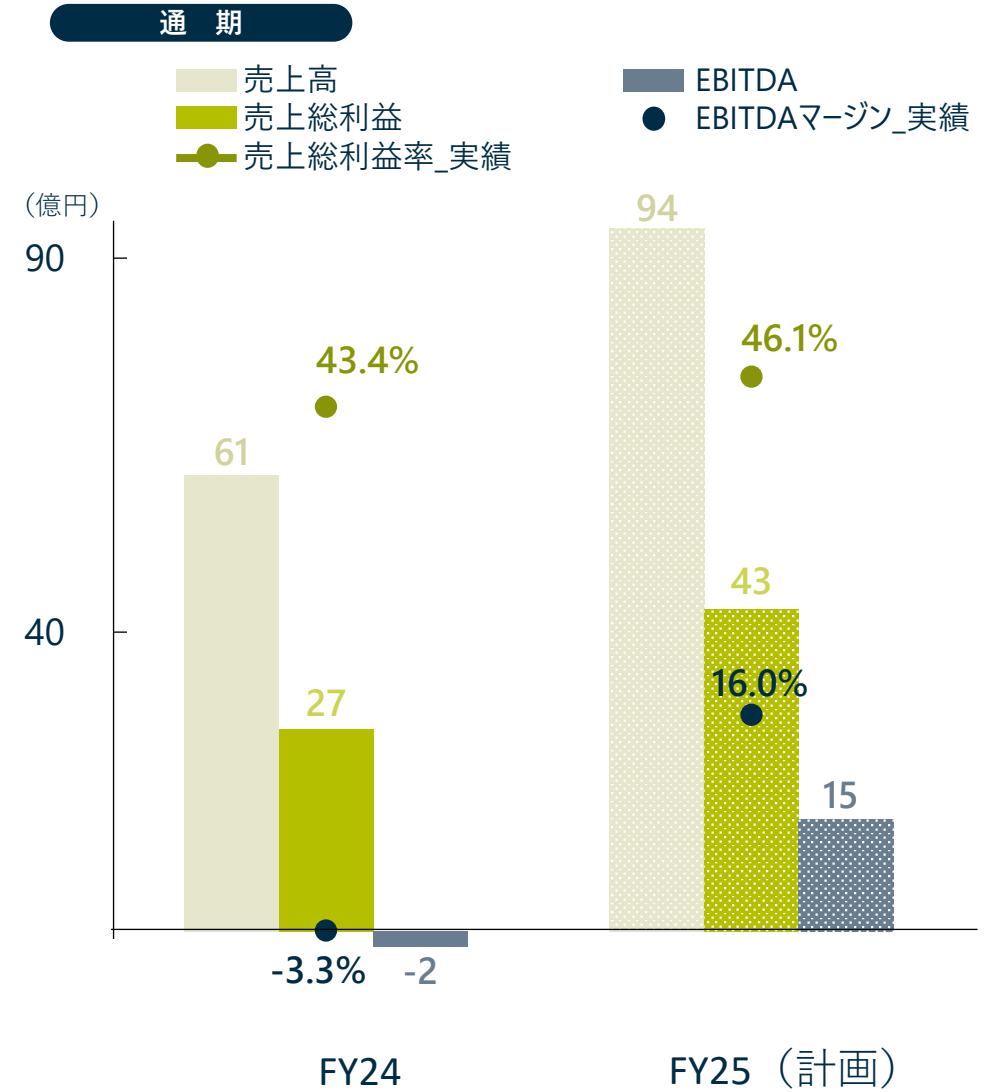
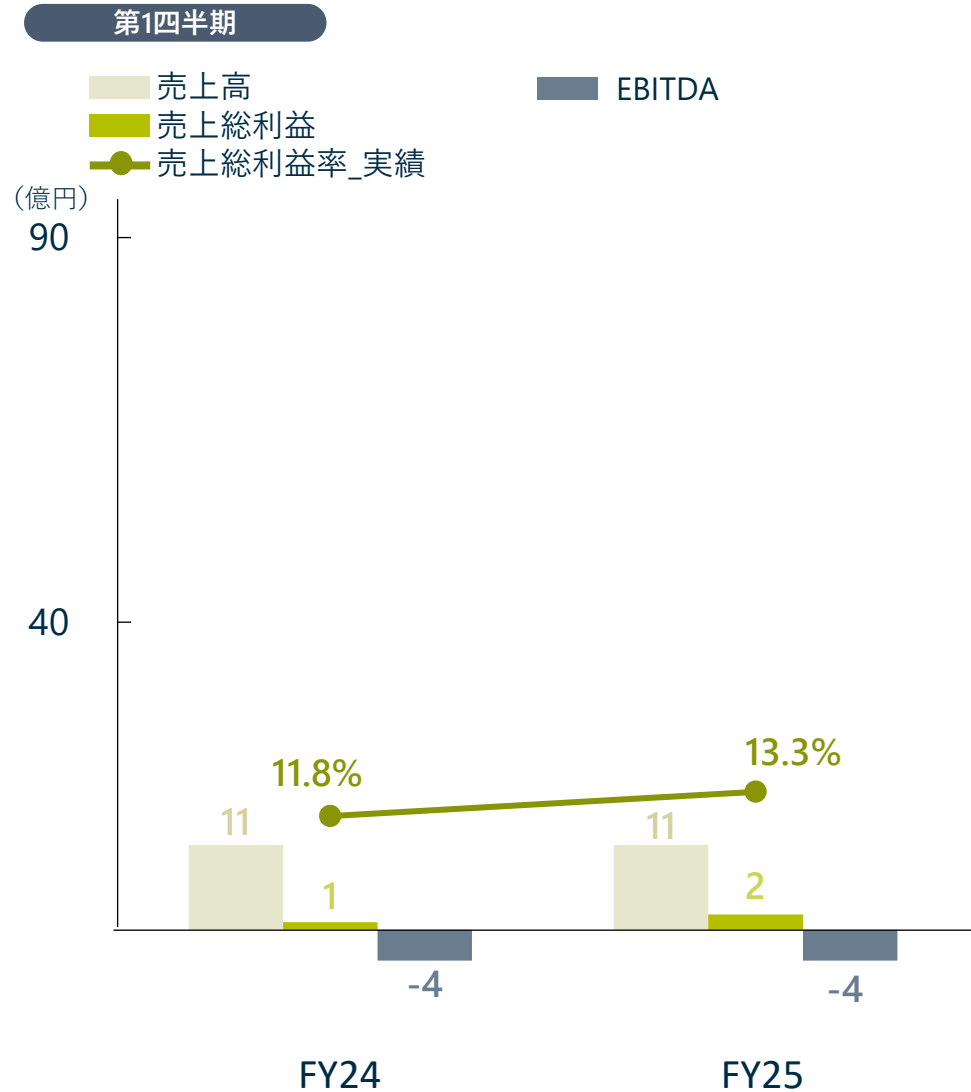
舗 装

前田製作所（連結）

機 械

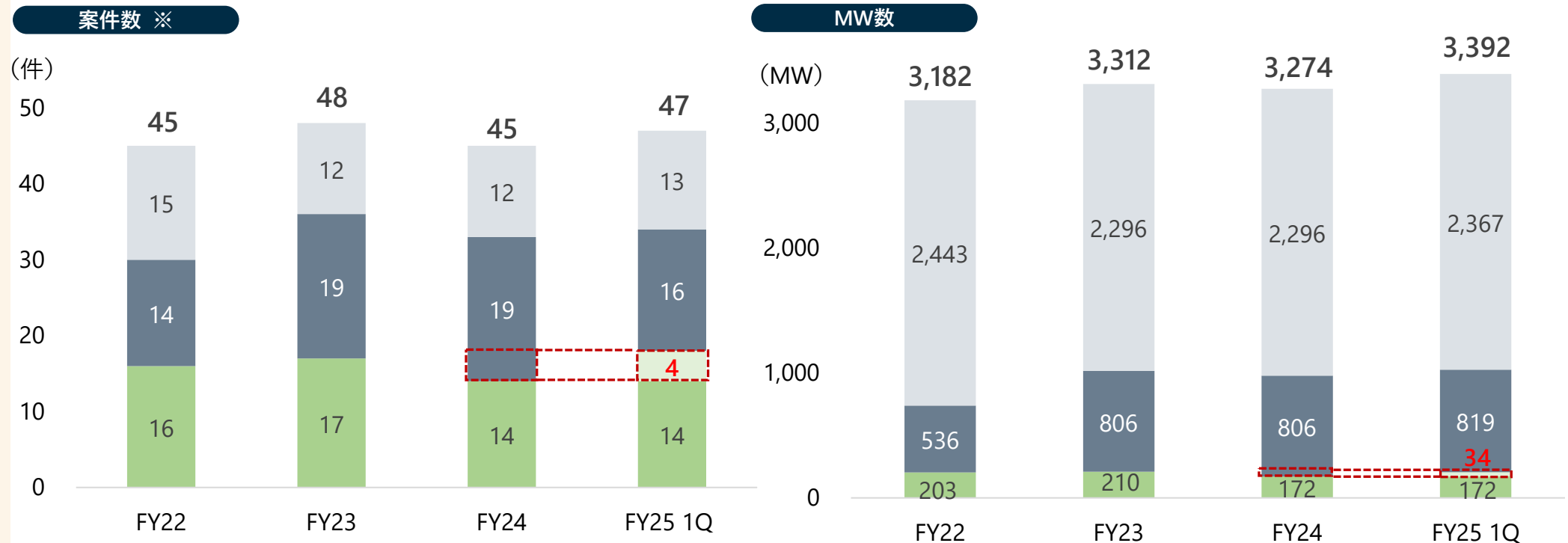
3-2-1. 売上高、売上総利益、EBITDAの推移

- FY25 1Q 前年同期比で売上高はほぼ横ばい。**売上総利益は増益**。
- FY25 通期 前期から期ずれとなった案件売却により、**通期計画達成**を見込む



3-2-2. 運営中および開発中案件の推移

- FY25 1Q 1Q時点で4案件(34MW)の建設工事を開始
- FY25 通期 前期比で2案件(118MW)の新規案件に着手し、各案件の開発を確実に進めている



※売却可能性のある案件も含む

案件
ステータスFIT/FIP入札予定案件
コーポレートPPAなど、FIT/FIPに頼らない案件

FIT/FIP取得済み

着工又は建設中

運営中

風力発電所の
開発プロセス

FS調査

風況調査
許認可調査
地元事前協議など

開発（調査・各所協議・設計等）

用地・許認可取得（FIT/FIP取得含）
環境アセスメント
電力会社手続き（系統連系）

工事計画届

建設

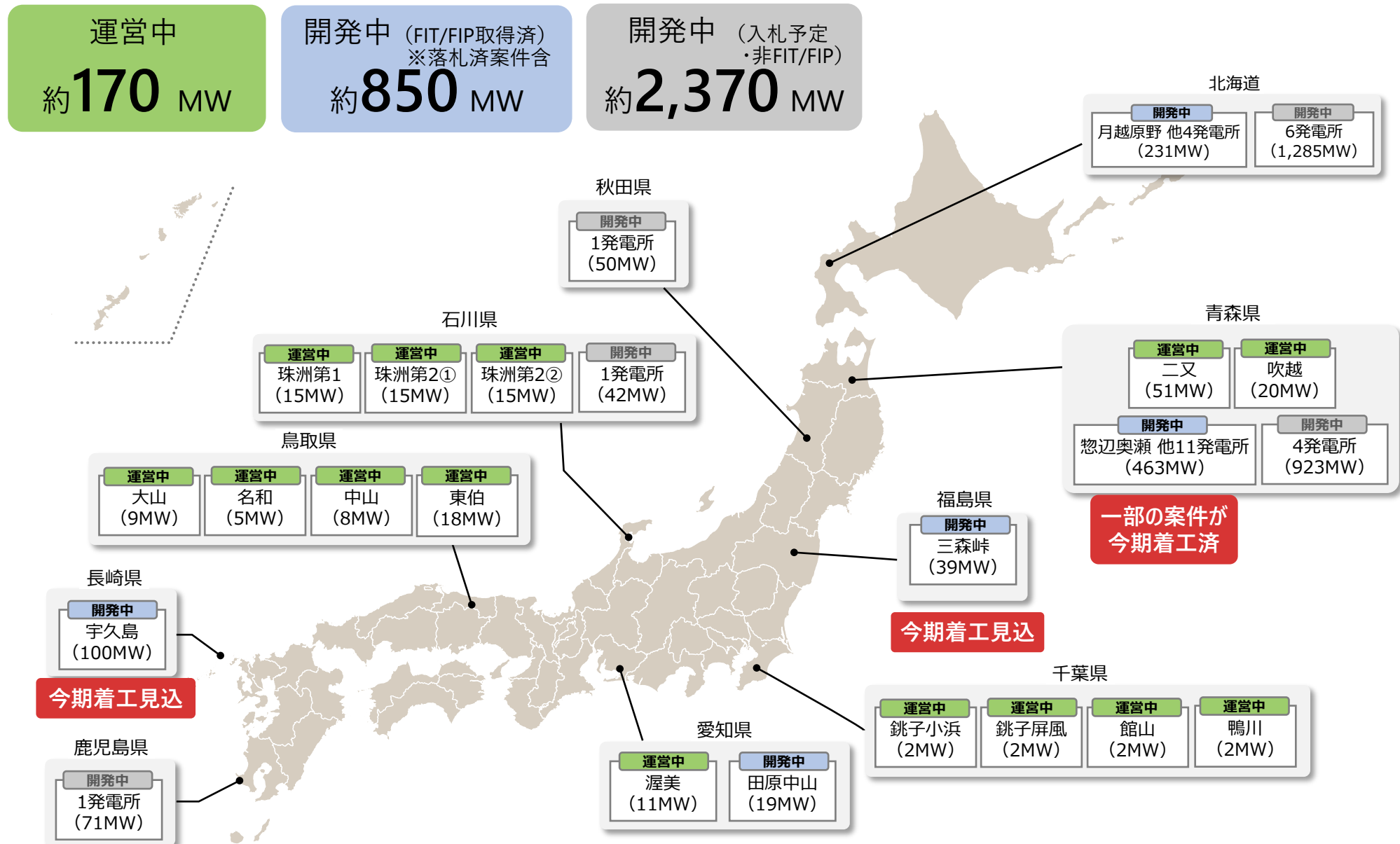
土木工事
風車組立工事
電気設備工事

運営・保守

運営
点検・保守
遠隔監視・制御

3-2-3. 風力発電事業の取り組み状況

- 開発から運営まで、風力事業のすべてのフェーズを自社グループで対応
- 地域との共生を第一に、常に地域と対話をしながら開発を推進



セグメント別ハイライト

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設（連結）

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

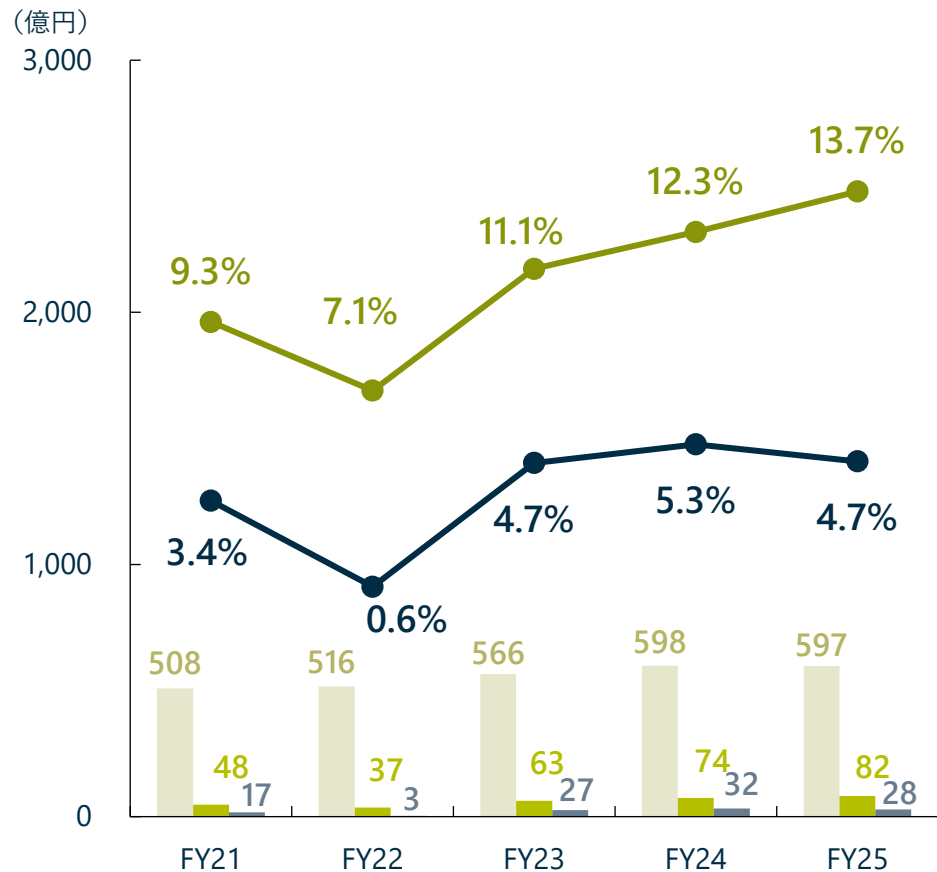
機 械

4-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 1Q 売上高はほぼ横ばいながらも売上総利益においては**前年同期比増益**
- FY25 通期 受注時利益率の確保や適正な販売単価の維持により**通期計画の達成**を見込む

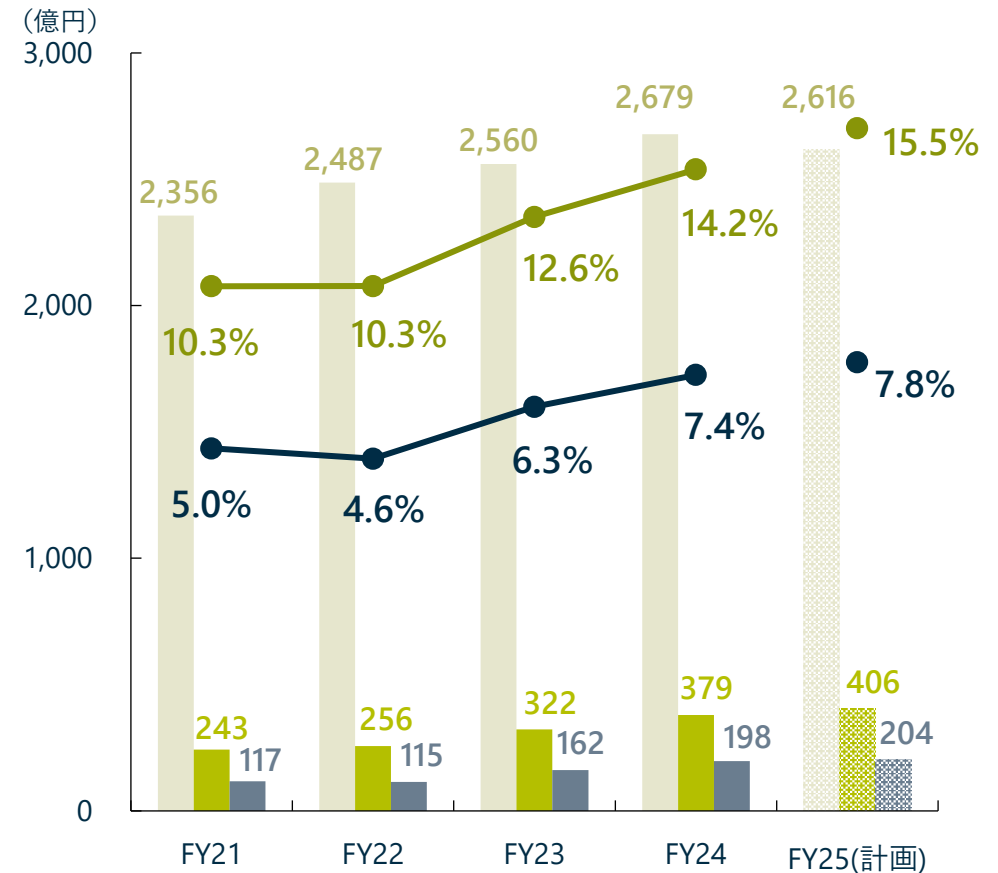
第1四半期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



通 期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績

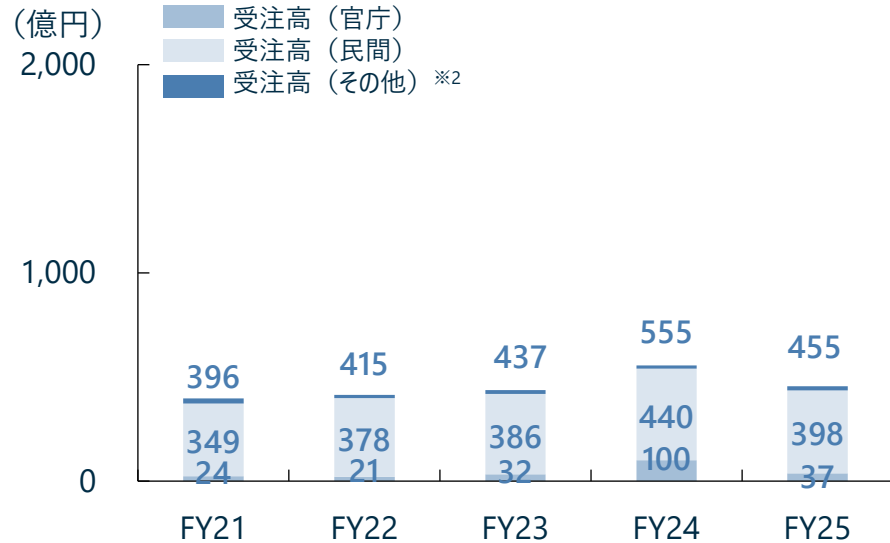


上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

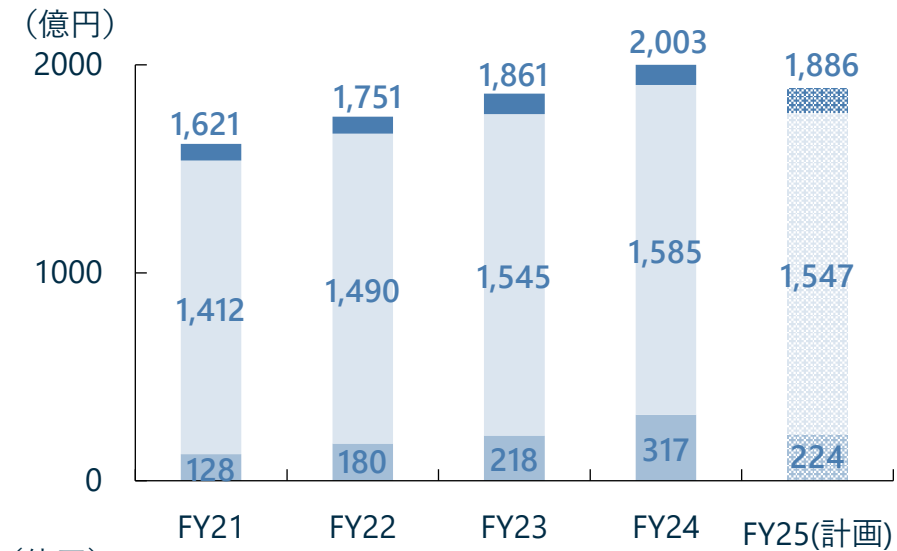
4-2. 【建設事業】受注高、売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 1Q 完全週休2日制により売上高は減少するものの、受注時利益率の向上により**前年並みの利益**を確保
- FY25 通期 受注時利益率の確保に加え、受注後の利益向上を図り、売上高・利益の**通期計画達成**を見込む

第1四半期



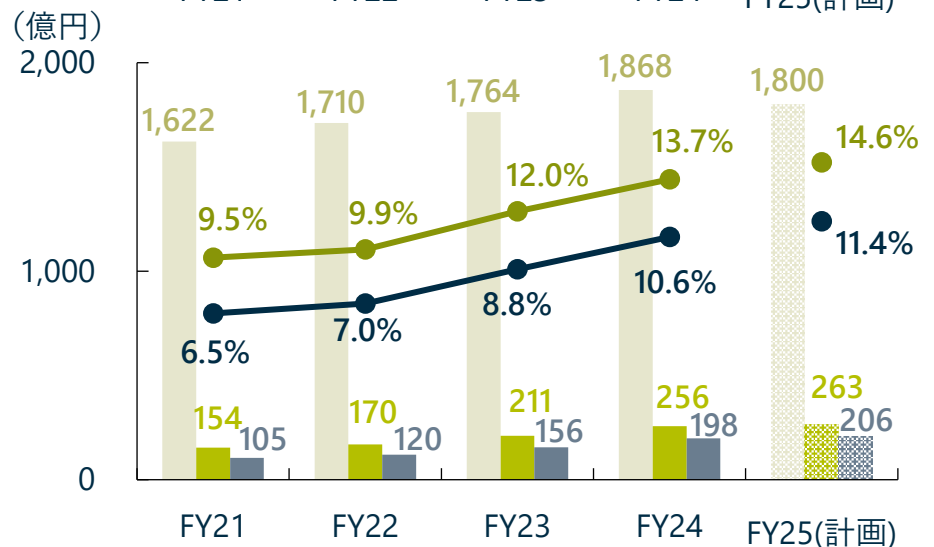
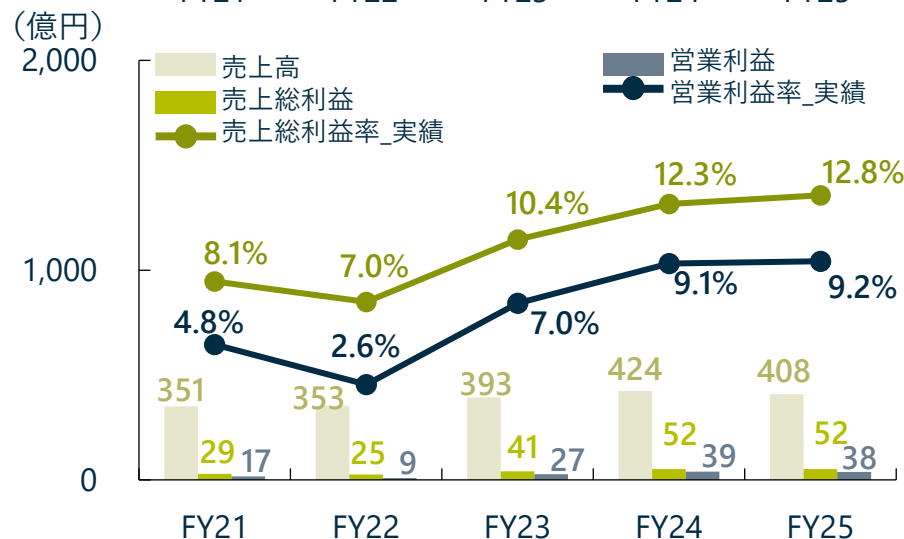
通 期



受注高

売上高・売上総利益・営業利益

※1



※1 従来の前田道路の連結数値であり、インフラグループ内の連結消去を考慮していない

※2 その他：関連会社の受注高（主に官庁工事）及びセグメント内取引消去高

※2 セグメント毎の営業利益算出時に本支店の一般管理費は控除していない

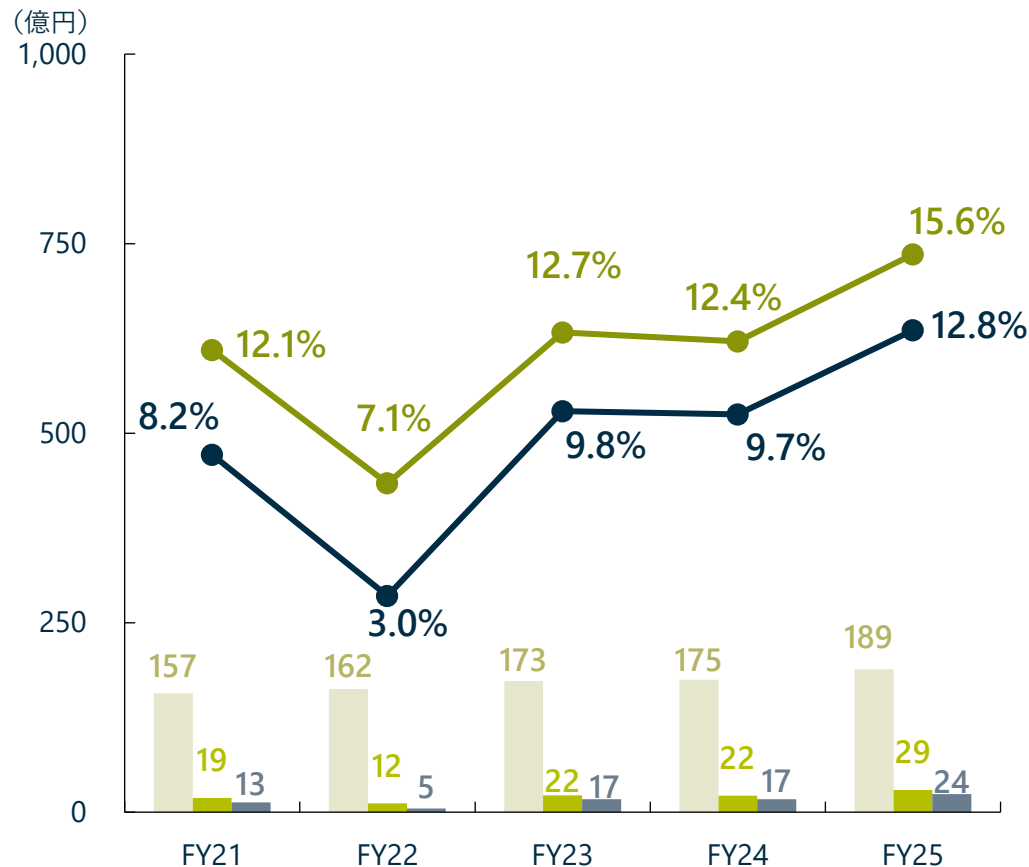
建
築土
木イン
フラ
M
Kイン
フラ
J
W
D舗
装機
械

4-3. 【製造販売事業】売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 1Q 前期に実施した価格転嫁の進捗と原材料費の落ち着きにより、**前年同期比増収増益**
- FY25 通期 外部環境に応じた適切な販売単価を設定することで、**通期計画の達成**を見込む

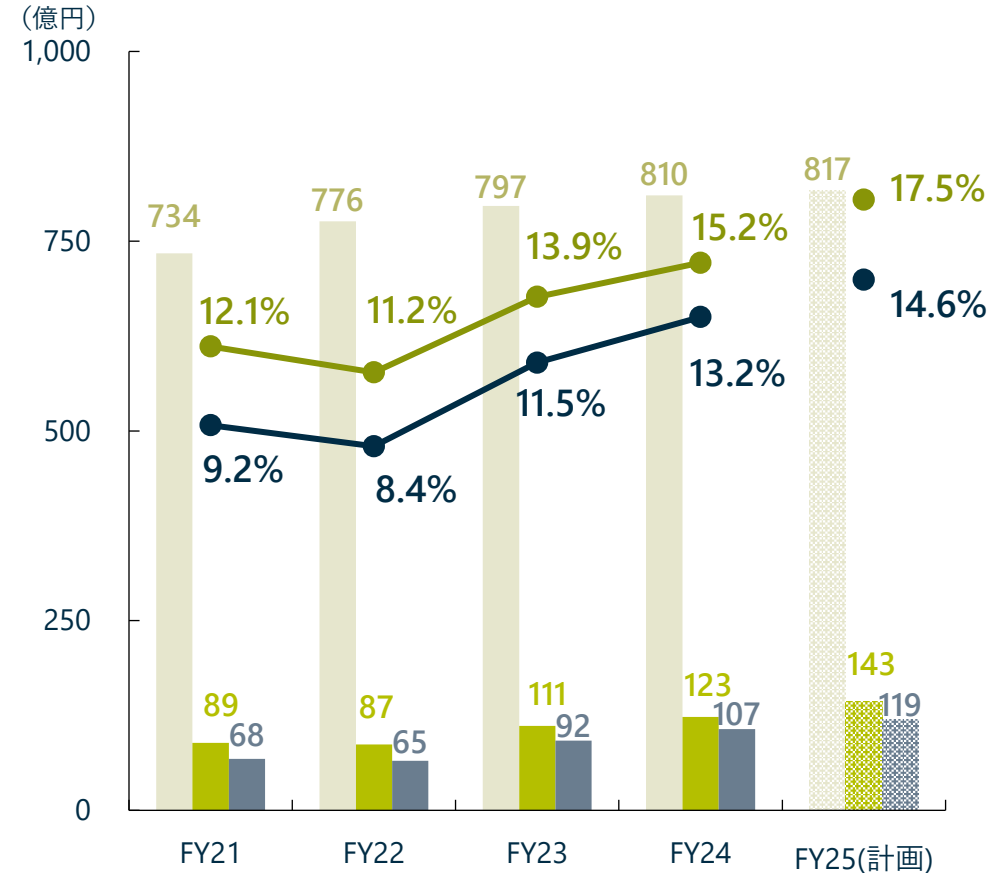
第1四半期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



通 期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



※1上記数値は、前田道路の従来の連結数値であり、インフロニアグループ内の連結消去を考慮していない

※2 セグメント毎の営業利益算出時に本支店の一般管理費は控除していない

セグメント別ハイライト

前田建設（個別）

建 築

前田建設（個別）

土 木

前田建設（連結）

インフラ運営

日本風力開発（連結）

インフラ運営

前田道路（連結）

舗 装

前田製作所（連結）

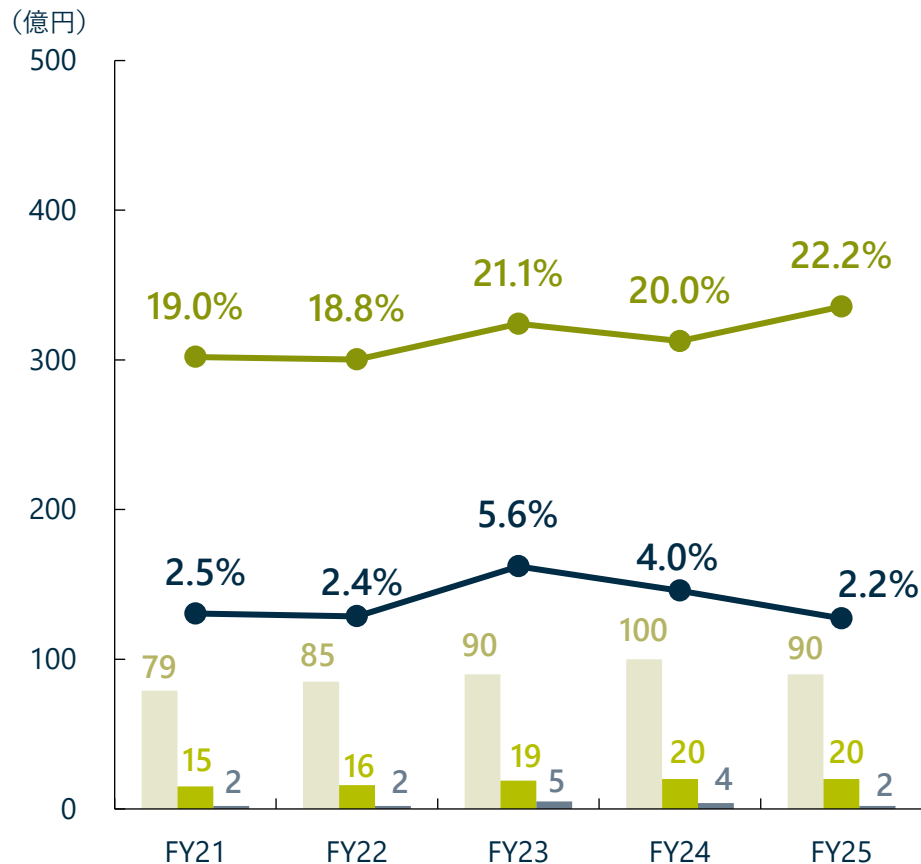
機 械

5-1. 売上高、売上総利益、営業利益の推移

- FY25 1Q クローラクレーンの販売が堅調に推移するも、一部製品の受注・販売台数の減少により減収だが、価格改定により
売上総利益率はアップ
- FY25 通期 足元の受注状況と、建設機械の整備・レンタル需要の取込みにより、**通期計画達成**を見込む

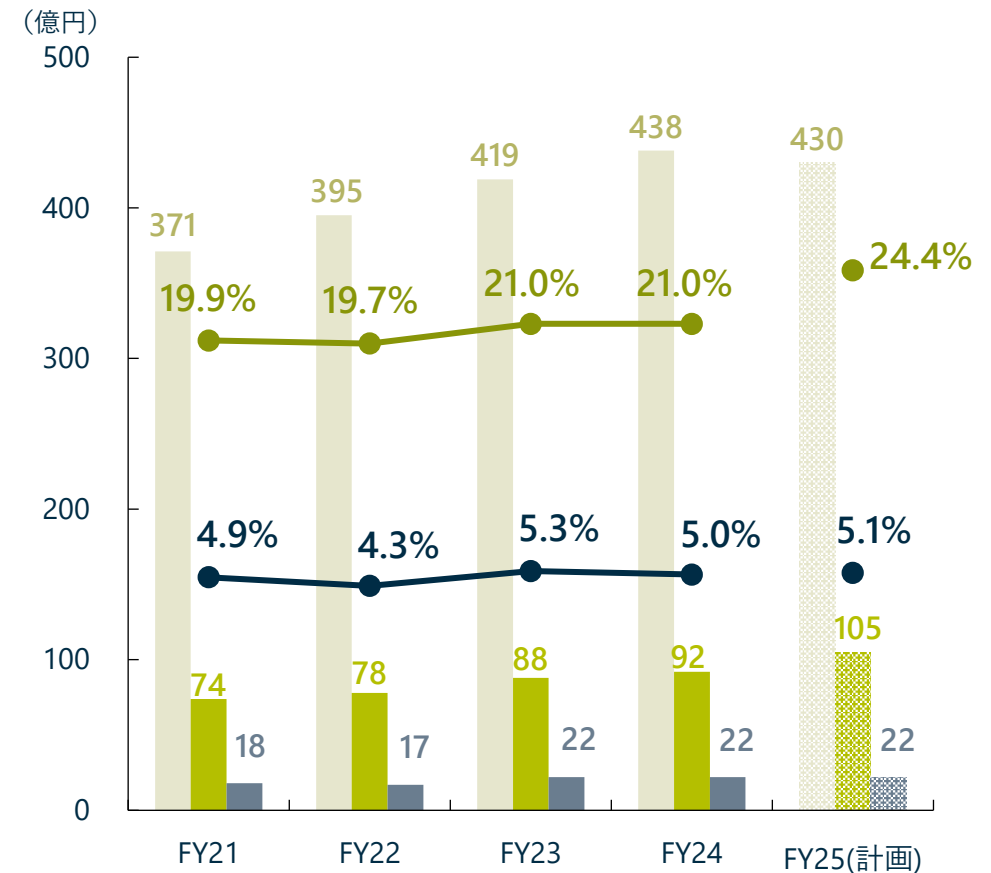
第1四半期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



通 期

売上高
売上総利益
売上総利益率_実績
営業利益
営業利益率_実績



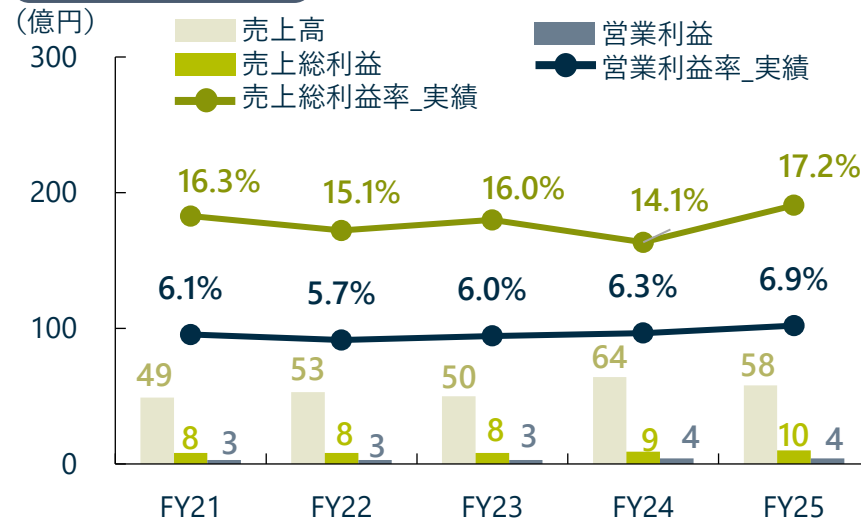
5-2. 【建設機械※1、産業・鉄構機械等※2】売上高、売上総利益、営業利益の推移※3

35

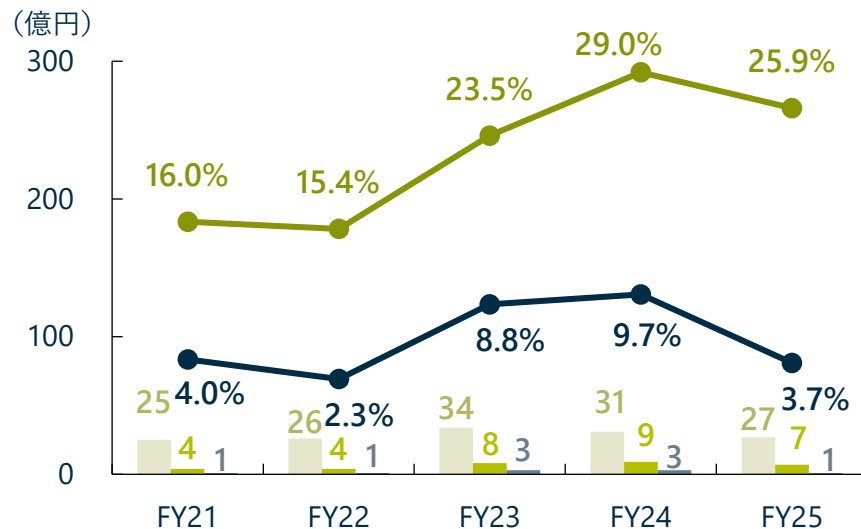
- FY25 1Q 建設機械においては適正な価格転嫁により**増益**
産業・鉄構機械等では一部商品の商流変更による販売台数の大幅減少により減収減益
- FY25 通期 建設機械はフォークリフト事業への領域拡大によるシナジー効果、産業・鉄構機械等では自社製品の販売促進により**通期計画達成**を見込む

第1四半期

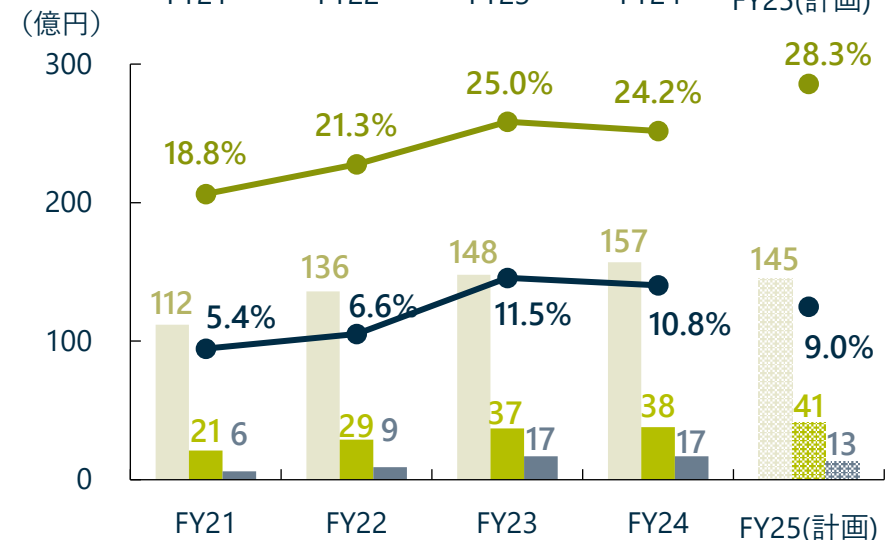
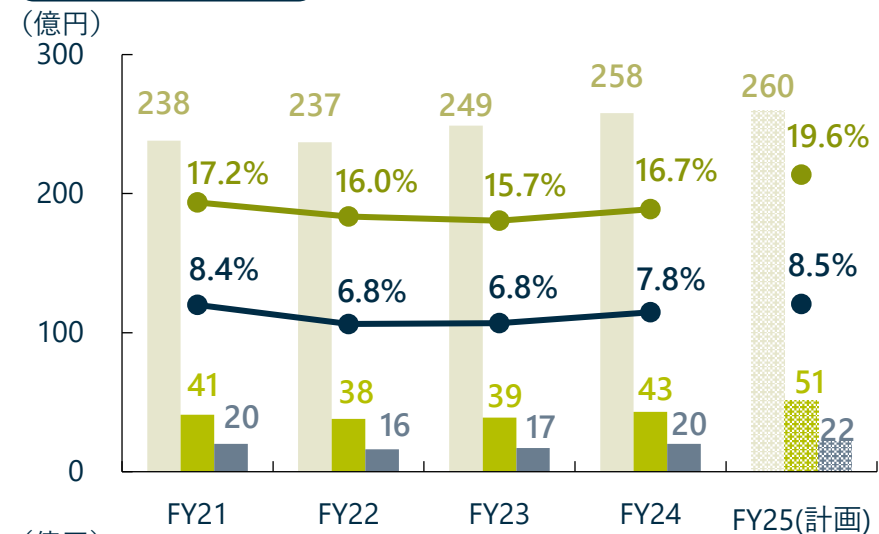
建設機械



産業・鉄構機械等



通 期



※1 コマツ製品の販売・サービス・レンタルを主体とした事業

※2 クレーン等自社製品の設計・製造・販売を主体とした事業

※3 機械セグメントの内、主要事業である建設機械事業、産業・鉄構機械等事業の数値

※4 セグメント毎の営業利益算出時に本支店の一般管理費は控除していない

建
築土
木イン
フラ
M
Kイン
フラ
J
W
D舗
装機
械

業績数値

1. 前田建設【個別】 FY25 1Q実績と通期計画 (インフラ運営のSPCは含まず)

(億円)

37

		FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	1Q 進捗率
売上高		914	1,055	141	5,081	20.8%
建築	計	603	740	137	3,405	21.7%
	国内	587	730	143	3,370	21.7%
	海外	16	10	△ 6	35	28.6%
土木	計	306	310	4	1,650	18.8%
	国内	306	310	4	1,650	18.8%
	海外	0	0	0	0	－%
インフラ運営		1	0	△1	11	0%
不動産		4	4	0	15	26.7%
売上総利益		97 (10.6%)	121 (11.5%)	24	653 (12.9%)	18.5%
建築	計	42 (7.0%)	80 (10.9%)	38	335 (9.8%)	23.9%
	国内	40 (6.9%)	79 (11.1%)	39	332 (9.9%)	23.8%
	海外	2 (13.1%)	1 (11.9%)	△1	3 (8.6%)	33.3%
土木	計	52 (16.8%)	42 (13.5%)	△10	300 (18.2%)	14.0%
	国内	52 (16.8%)	41 (13.5%)	△11	289 (17.5%)	14.2%
	海外	△0 (－)	0 (－)	0	1 (－)	20.0%
インフラ運営		1 (91.1%)	△3 (－)	△4	11 (100.0%)	－%
不動産		2 (48.8%)	2 (46.8%)	0	7 (46.7%)	28.6%
一般管理費		88 (9.6%)	81 (7.7%)	△7	371 (7.3%)	21.8%
営業利益		8 (0.9%)	40 (3.8%)	32	282 (5.6%)	14.2%
経常利益		34 (3.7%)	55 (5.2%)	21	300 (5.9%)	18.3%
当期純利益		30 (3.3%)	46 (4.3%)	16	260 (5.1%)	17.7%

2. 前田道路【連結】 FY25 1Q実績と通期計画

(億円) 38

	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	1Q 進捗率
売上高	598	597	△1	2,616	22.8%
建設事業	423	408	△15	1,800	22.7%
製造販売	175	189	14	817	23.1%
売上総利益	74 (12.3%)	82 (13.7%)	8	406 (15.5%)	20.1%
建設事業	52 (12.3%)	52 (12.8%)	0	263 (14.6%)	19.8%
製造販売	22 (12.4%)	29 (15.6%)	8	143 (17.5%)	20.6%
一般管理費	42 (7.0%)	53 (8.9%)	11	202 (7.7%)	26.3%
営業利益	32 (5.3%)	28 (4.7%)	△3	204 (7.8%)	13.9%
経常利益	33 (5.5%)	30 (5.0%)	△3	207 (7.9%)	14.4%
当期純利益	22 (3.7%)	21 (3.5%)	△1	137 (5.2%)	15.4%

3. 前田製作所【連結】 FY25 1Q実績と通期計画

(億円) 39

	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	1Q 進捗率
売上高	100	90	△ 10	430	20.9%
建設機械	64	58	△ 6	260	22.3%
産業・鉄構機械等	31	27	△ 4	145	18.6%
介護用品・その他	6	6	0	25	24.0%
売上総利益	21 (21.0%)	20 (22.2%)	△ 1	105	19.0%
建設機械	9 (14.1%)	10 (17.2%)	1	51	19.6%
産業・鉄構機械等	9 (29.0%)	7 (25.9%)	△ 2	41	17.1%
介護用品・その他	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0	13	23.1%
一般管理費	17 (16.5%)	18 (20.0%)	1	83	21.7%
営業利益	4 (4.0%)	2 (2.2%)	△ 2	22	9.1%
経常利益	5 (5.0%)	3 (3.3%)	△ 2	22	13.6%
当期純利益	4 (4.0%)	2 (2.2%)	△ 2	14	14.3%

4. 日本風力開発【連結】 FY25 1Q実績と通期計画

(億円) 40

	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	前年 同期比	FY25 通期計画	1Q 進捗率
売上高	9	10	0	94	10.2%
開発	4	5	0	69	6.8%
O&M	5	4	△0	21	21.5%
その他	0	1	0	4	12.0%
売上総利益	1 (11.8%)	1 (13.3%)	0	56	2.3%
開発	△0 (-6.9%)	1 (12.5%)	1	43	1.3%
O&M	1 (29.1%)	1 (20.2%)	△0	11	8.3%
その他	0 (21.9%)	△0 (-40.1%)	△0	2	-
一般管理費	10 (110.9%)	11 (113.6%)	0	44	24.7%
営業利益	△9 (-99.1%)	△10 (-100.4%)	△0	12	-
経常利益	△10 (-107.2%)	△10 (-104.1%)	0	8	-
当期純利益	△11 (-119.1%)	△12 (-128.3%)	△1	5	-

5.主なグループ会社のFY25 1Q実績と通期計画

(百万円)

連結子会社 (その他セグメント)	(株)エフビーエス ※1			フジミ工研(株) ※1			(株)JM ※2		
	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画
売上高	3,454	3,156	18,630	2,373	3,344	14,616	5,348	4,715	25,500
営業利益	△ 23	38	467	△ 134	255	264	△ 100	△ 228	150
経常利益	△ 12	56	483	△ 96	294	314	△ 98	△ 230	160
当期純利益	△ 5	36	316	△ 91	552	210	△ 88	△ 196	100

持分法 適用会社	東洋建設(株) ※2			光が丘興産(株) ※2		
	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画	FY24 1Q実績	FY25 1Q実績	FY25 通期計画
売上高	29,444	35,528	180,000	1,079	1,079	4,240
営業利益	△ 462	422	10,350	289	242	700
経常利益	△ 529	1,031	10,200	1,222	1,053	2,300
当期純利益	90	1,076	8,200	989	849	1,380

※1 日本基準・各社の連結

※2 日本基準・単体

【補足資料】外部評価機関からの評価

ESG 投資指数「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定

世界最大規模の年金運用機関であるGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がESG投資の指数として採用している「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（以下「本インデックス」）」の**構成銘柄に継続選定されました。**

本インデックスは、ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE Russell社が開発した世界的なESG投資指数で、各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス（ESG）の取り組みに優れた日本企業のうち、脱炭素経済への移行を促進するため、GHG排出量改善の取り組みが評価された企業のみが組み入れられたインデックスです。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

※FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにインフロンニア・ホールディングス株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

※HP. <https://www.infroneer.com/jp/news-article/2025/07/22/1034.html>

MSCI ESG Ratingsにおいて「AA」評価を初めて獲得

世界的なESG評価指標であるMSCI ESG Ratingsにおいて、2025年4月に初めて**「AA」評価を獲得しました。**

今回はコーポレートガバナンスにおいて、監査役の独立性や取締役選定における株主とのエンゲージメントが高く評価され、これまでの「A」から「AA」にランクアップしました。また、当社の再生可能エネルギー事業における戦略に対しても一定の評価が得られたと考えています。

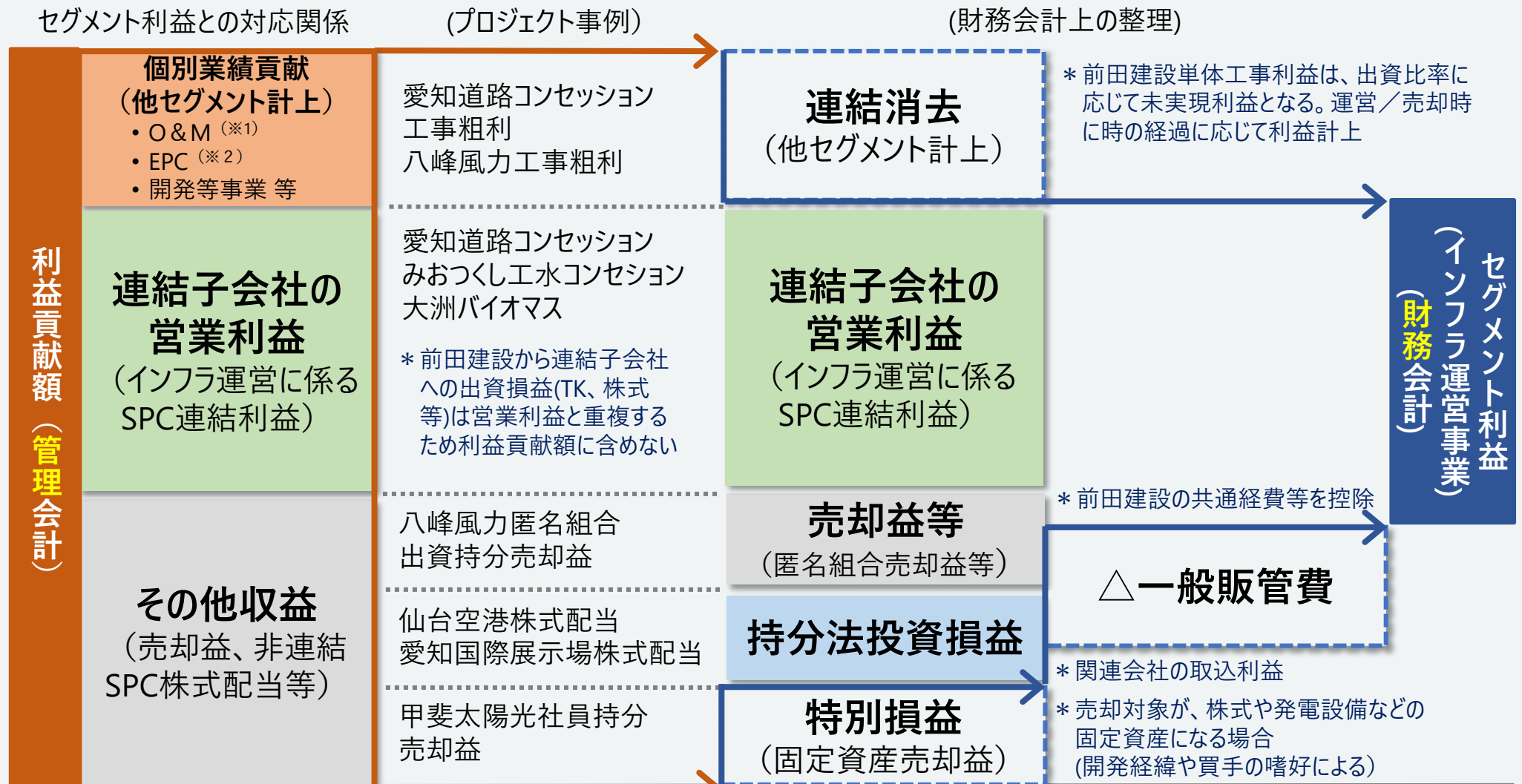


※当社グループによるMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社（以下「MSCI」）のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる当社グループの後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスとデータは、MSCIおよびその情報プロバイダーの資産であり、「現状のまま」提供され、保証するものではありません。MSCIの名称およびロゴは、MSCIの商標またはサービスマークです。

※HP. <https://www.infroneer.com/jp/news-article/2025/05/27/1016.html>

【補足資料】インフラ運営セグメント「利益貢献額」と「セグメント利益」の違いについて

- 「利益貢献額」は、連結子会社個別の工事粗利、その他収益、営業利益を合計した**管理会計上の実質的な貢献額**。出資比率や売却スキームにより、連結上の利益表示箇所が異なることを考慮したもの
- 連結財務諸表の「**セグメント利益(インフラ運営事業)**」は、利益貢献額に含まれる工事利益などを連結消去し、管理部門の共通経費を控除した**財務会計上の営業利益**で、営業外/特別損益を計上する前の値



※利益貢献額では、前田本社共通経費等の一般管理費を考慮していない

※1 O&M インフラ施設の運転保守管理業務等

※2 EPC インフラ運営事業に伴う新築工事 大規模修繕工事等

【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信の数字を億円単位とし、四捨五入しております。
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAONEER Holdings Inc.**